

令和 8（2026）年度入学者

京都大学大学院 総合生存学館（思修館）博士課程〔5 年一貫制〕

一般選抜学生募集要項

京都大学大学院総合生存学館

総合生存学館 アドミッションポリシー

総合生存学館は、総合生存学における課題解決情報を、机上ではなくその問題が起きている現場に即して創出し、的確に判断・行動できる高度な専門的能力を身につけた人材の育成をめざしています。文理にわたる幅広い専門的学識を積み重ねることで、多様な専門分野を俯瞰する力を培います。また、複数教員の指導と助言のもとで研究基礎力を養い、さらに国内外の社会実践で得られた経験知をモデル化して修得していきます。あわせて、顕在化している個々の問題解決にあたるだけでなく、人類や社会システム、地球社会などにおける今日的な問題の本質を理解して、総合生存学に基づく世界観・人間力・社会力をもとに自ら課題を設定し、その解決への営みを通じて、グローバルリーダーとなる人材を育成します。

1. 総合生存学館は、次のような能力、適性、意欲を有する者を求めます。

- (1) 地球規模課題解決のために取り組む研究課題・研究目標を設定できる能力ならびに、研究をやり遂げる意志・能力および研究を実施するに必要な基礎的能力を有していること。
- (2) 様々な地球規模課題を解決する強い興味と関心を持ち、自らの将来を計画し、決断、実行する力を有しているとともに、社会において多様な価値・システムを創造するようなグローバルリーダーを目指す意欲を有していること。
- (3) グローバルに活躍するための基礎となる語学力・コミュニケーション能力を有していること。

2. 具体的な選抜基本方針は、次のとおりです。「総合生存学」という分野横断研究において

は、地球規模課題の解決を目指す人材が身に付けるべきものとして、単一研究分野のみにとらわれない幅広い見地と課題解決策の提案手法の習得能力などが求められます。これらを入学後に涵養するにあたり、その前提として必要とされる学術的基礎能力（専門軸）と、適性および意欲を総合的に評価し、多様かつ優秀な人材を幅広く求めます。

目 次

Part I 全入試区分共通事項

1. 入学者選抜の概要	5
2. アドミッション支援室（AAO）への事前相談	6
3. 募集人員	6
4. 出願資格	6
5. 出願資格の審査	7
6. 出願書類等	8
7. 出願手続き及び注意	10
8. 学力検査日程、入学者選抜方法	11
9. 受験票	11
10. 合格者発表	11
11. 入学料及び授業料	11
12. 注意事項	11

Part II 各研究科別入学試験等詳細（研究科別出願書類・学力検査日程・入学試験詳細）

1. 文学研究科	15
2. 教育学研究科	23
3. 法学研究科	25
4. 経済学研究科	29
5. 理工学研究科	31
6. 医学研究科医科学専攻	41
7. 医学研究科人間健康科学系専攻	43
8. 薬学研究科	45
9. 工学研究科	47
10. 農学研究科	73
11. 人間・環境学研究科	79
12. エネルギー科学研究科	83
13. アジア・アフリカ地域研究研究科	91
14. 情報学研究科	93
15. 生命科学研究科	97
16. 地球環境学舎	101
17. 総合生存学館	105

Part I 全入試区分共通事項

1. 入学者選抜の概要

京都大学大学院総合生存学館〔5年一貫制〕では、「一般選抜」の選抜方法について、以下のよう
に実施する。学生募集は4月入学のみとし、10月入学の制度はない。

総合生存学館の「一般選抜」により入学を希望する者は、総合生存学館に出願書類を提出するも
のとし、(1) (第一次試験) に合格と判定された者を対象として、(2) (第二次試験) を実施して
入学者を選抜する。

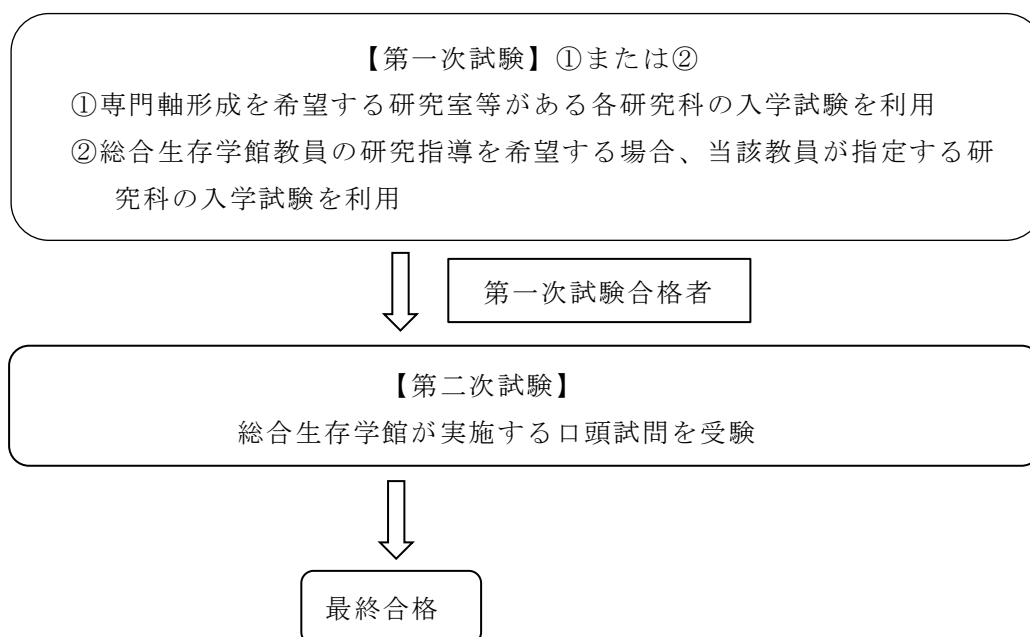
(1) 第一次試験 入学後に総合生存学館において自らが取り組みたい課題の解決にとって必要
な学術的基礎(専門軸)となる学問領域を選定し、その学問領域の研究分野等がある本学の
研究科(専攻)(※)を一つ選択して、総合生存学館に出願の際にその研究科(専攻)を届
け出る。その研究科(専攻)が実施する修士課程の一般選抜の入学試験、又は総合生存学館
教員の研究指導を希望する場合は当該教員が指定する研究科(専攻)の入学試験を利用して
第一次試験とする。

(2) 第二次試験 総合生存学館が実施する口頭試問

(※) 文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学研究科、薬学研
究科、工学研究科、農学研究科、人間・環境学研究科、エネルギー科学研究科、アジア・ア
フリカ地域研究研究科、情報学研究科、生命科学研究科、地球環境学舎

(注) 本学館に入学を希望する者は、第一次試験で選択する一つの研究科・専攻等の入学試験のみ
を利用して受験する。複数の研究科・専攻等の入学試験を利用して受験することはできない。
研究科の中には利用できない専攻等もあるため、「Part II 各研究科別入学試験等詳細」を熟読
すること。

また、総合生存学館へ出願し第一次試験で利用する研究科への直接の出願(重複)が認めら
れない研究科もある。



【総合生存学館の学位について】

総合生存学館の修了に際しては、博士(総合学術)が授与される。

2. 京都大学アドミッション支援室 (AAO) への事前相談

本学館に入学を希望する者は、第一次試験で情報学研究科を利用する者を除き、出願前に京都大学アドミッション支援室（以下、「アドミッション支援室 (AAO)」という）を通して研究指導を希望する教員の同意を得ておくこと（第一次試験で情報学研究科の入試を利用する者は、教員への個別連絡は認めない。情報学研究科が開催する入試説明会等に参加することが望ましい）。

情報学研究科を除いて、出願前にアドミッション支援室 (AAO) に必ず連絡をとり受入照会を行うこと。（受入れ不可の場合もあるため必ず事前に相談すること。）

教員への相談はアドミッション支援室 (AAO) を通じて行い、直接、教員に連絡をとってはいけない。アドミッション支援室 (AAO) へのウェブ申請の際には「研究計画書」の提出が必要である。研究指導を受けることを希望する教員から二次出願書類受付期間までに「受入承諾書」に署名をもらい出願時に提出すること。情報学研究科を除いて、「受入承諾書」がない場合の出願は受け付けない。

○アドミッション支援室 (AAO) ログインページ

<https://www.aao.opir.kyoto-u.ac.jp/>

「研究計画書」及び「受入承諾書」…総合生存学館ウェブサイトからダウンロードすること。

3. 募集人員

専攻	募集人員
総合生存学専攻	20 名

4. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは2026年3月末日をもって該当する見込みの者

- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。)の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 大学又は専門職大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学館において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

(10) 本学館において、個別の出願資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

（注）外国の大学を卒業した者又は卒業見込みの者は、必ず下記のアドミッション支援室(AAO)に連絡し出願資格の照会をすること。一次出願受付期間までに照会手続きが完了していない場合は、出願することができない。第一次試験で情報学研究科を利用する者も出願資格の照会を必ず行うこと。

○アドミッション支援室（AAO）ログインページ

<https://www.aao.opir.kyoto-u.ac.jp/>

5. 出願資格の審査

出願資格（9）又は（10）により出願を希望する者には、出願に先立ち出願資格の審査を行うので、次の書類を2025年5月19日（月）午後5時までに総合生存学館教務掛へ郵送で提出すること。

郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程出願資格認定申請」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）すること。

【出願資格審査提出書類】

①出願資格審査申請書	（出願資格(9)又は(10)該当者） 所定様式 様式は総合生存学館ウェブサイトからダウンロードすること。 https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/recruitment/ganeral-applicaion-guidelines/
②在籍する学科等の教育内容を示す書類	（出願資格(9)該当者） 在籍する学科等の卒業要件が分かるものおよび出願時までに修得した科目のシラバス・講義内容等（一般教養科目含む）
③成績証明書	（出願資格(9)該当者） 在籍する大学が作成し、厳封したもの （出願資格(10)該当者） 最終出身学校が作成し、厳封したもの
④その他書類	（出願資格(10)該当者） 大学卒業と同等以上の能力を示す業績、資格、社会における活動実績等を証明する書類（様式任意）
⑤封筒（審査結果通知用）	（出願資格(9)又は(10)該当者） 長形3号封筒（120mm×235mm）：申請者の住所・氏名・郵便番号を明記し320円分の切手（特定記録料金）を貼付したもの

1. 出願資格(9)により出願資格の認定申請をした者には、書類審査を行う。
2. 出願資格(10)により出願資格の認定申請をした者には、書類審査を行い、必要に応じて筆記試験又は口頭試問を行うことがある。
3. 出願資格審査申請後、追加書類の提出を指示する場合がある。
4. 資格審査の結果は、2025年5月30日（金）に申請者あて郵送により通知する。

6. 出願書類等

入学出願者は、次の（１）～（３）に掲げる出願書類を提出すること。

*印の様式は本学館ウェブサイト (<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/recruitment/ganeral-application-guidelines/>) からダウンロードすること。

様式は A4サイズで印刷して提出すること。

自署と書かれた項目以外は手書き又は文書作成ソフト等使用のどちらでも可とする。

様式の改変は行わないこと。

（１）一次出願書類

総合生存学館を志望する学生は、利用する研究科・専攻に関わらず一次出願書類（「入学願書」及び「入学検定料収納証明書」）をまず郵送で提出すること。一次出願書類提出後は、入学願書に記載されたメールアドレスに受験に必要な情報等送付することがあるため、こまめに確認すること。

*	①入学願書	所定の様式に必要事項を正確に記載のこと。
*	②入学検定料収納証明書（所定の台紙に貼付）	入学検定料 30,000 円 【国費留学生は不要】 支払期間※一次出願受付期間にあわせて入学検定料を納付すること。 期間1：2025年 6月 2日（月）～2025年 6月11日（水）午後5時まで 期間2：2025年 6月25日（水）～2025年 7月 4日（金）午後5時まで 期間3：2025年 7月23日（水）～2025年 8月 1日（金）午後5時まで 期間4：2025年12月 5日（金）～2025年12月15日（月）午後4時まで （期間外に支払われた場合は出願書類を受理しない。） 支払方法 EX 決済サービス (https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/hus/) を利用して支払を行うこと。手数料（650円）が必要。支払及び申込内容の確認画面から収納証明書を印刷して、必要な部分を切り取り、「入学検定料収納証明書貼付台紙」の所定の場所に貼付すること。 ※手数料の額は改定されることがあるため、京都大学 EX 決済サービスのシステム画面で確認のこと。 注）大規模な災害により被災した入学志望者に対しては、入学検定料を免除することがある。詳しくは、京都大学ウェブサイト上の入学検定料の免除に関する通知 https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees-exemption を参照し、支払期間までに総合生存学館教務掛まで問い合わせること。

【出願書類等受付期間及び提出（送付）先】

○一次出願書類

受付期間：一次出願書類の受付期間は一次試験で利用する研究科・専攻により以下の4つの期間を設ける。総合生存学館を志望する者は一次試験で利用する研究科・専攻が属するいずれか一つの期間に提出すること。

期間1：2025年 6月 2日（月）～2025年 6月 11日（水）午後5時（必着）

【この期間に出願が必要な研究科・専攻】

理学研究科、工学研究科、情報学研究科、生命科学研究科

期間 2：2025 年 6 月 25 日（水）～2025 年 7 月 4 日（金）午後 5 時（必着）

【この期間に出願が必要な研究科・専攻】

法学研究科、経済学研究科、医学研究科医科学専攻、医学研究科
人間健康科学系専攻、薬学研究科、農学研究科、人間・環境学研
究科、エネルギー科学研究科、地球環境学舎

期間 3：2025 年 7 月 23 日（水）～2025 年 8 月 1 日（金）午後 5 時（必着）

【この期間に出願が必要な研究科・専攻】

教育学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科

期間 4：2025 年 12 月 5 日（金）～2025 年 12 月 15 日（月）午後 4 時（必着）

【この期間に出願が必要な研究科・専攻】

文学研究科

注）第一次試験で利用する研究科・専攻によっては、以下の二次出願書類（共通）及び
（研究科別）の提出期間が一次出願書類受付期間と重複することがあるため、一次出
願書類及び二次出願書類を同封して提出することもできる。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

（2）二次出願書類（共通）

利用する研究科・専攻に関わらず全て郵送で提出すること。

*	①写真票・受験票	写真票・受験票には、上半身脱帽正面向きで出願前3カ月以内に単身で撮影した修正・加工等していない写真（縦4cm×横3cm）2枚を、裏面に氏名を記入の上、所定の枠内に貼付すること。
	②成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したものを原本で提出すること。
	③卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長又は学部長が作成したものを原本で提出すること。
	④受験票送付用封筒	長形3号封筒（120mm×235mm）：申請者の住所・氏名・郵便番号を明記し320円分の切手（特定記録料金）を貼付したもの ※郵便料金は最新情報を確認すること。
*	⑤あて名票	出願者の住所・氏名・郵便番号を明記すること。
	⑥在留カード又はパスポートの写し	外国人留学生で、日本に在留している者は、在留資格、在留期間及び現住所が記載された在留カードの表裏両面の写しを、海外在住の者はパスポートの顔写真のあるページの写しを、A4サイズの用紙にコピーして提出すること。
	⑦国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は提出すること。

*	⑧受入承諾書	アドミッション支援室(AAO)通じて研究指導を希望する教員にコンタクトをとり事前にサインをもらうこと（教員には直接コンタクトをとらないこと）。 ※第一次試験で情報学研究科の入試を利用する者は不要。
*	⑨志望専攻・コース等調書	一次試験を利用する研究科に関する必要事項を記入すること。 ※総合生存学館の教員の研究指導を希望する場合は、志望専攻・コース等調書の提出は原則不要。必要がある場合は別途、出願者に指示する。

注) 出願資格(2)の見込みの該当者は、上記書類のほか「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」(様式随意：学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載のあるもの)を提出すること。

(3) 二次出願書類 (研究科別)

利用する研究科別の出願書類は、「Part II 各研究科別入学試験等詳細」に記載しているので、研究科・専攻別に必要な書類を準備のうえ、「(2) 二次出願書類 (共通)」と併せて郵送で提出すること。

受付期間・書類等詳細についても、「Part II 各研究科別入学試験等詳細」に記載しているので、第一次試験で利用する研究科・専攻のページを熟読すること。

○二次出願書類 (共通) 及び (研究科別)

受付期間：「Part II 各研究科別入学試験等詳細」に記載しているので一次試験で利用する研究科のページを熟読すること。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

7. 出願手続き及び注意

- (1) 郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集 (2026 年 4 月期) 出願書類在中」と朱書 (レターパックプラスの場合は「品名」に記載) すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、こちらから問い合わせることがある。
- (2) 一次出願書類の提出者には、願書記載のメールアドレスに受理した旨通知を行う。一次出願書類提出期間内に通知がない場合は、総合生存学館事務部教務掛まで問い合わせること。二次出願書類の提出者には受験票の発送により、受理したことへの通知に代える。
- (3) 一次出願書類受理後は、原則として出願事項の変更は認めず、一次出願書類が受理された場合の入学検定料の払い戻しには応じない。また、提出された出願書類は返却しない。
- (4) 日本語・英語以外で書かれている証明書を提出する場合は、日本語訳 (または英語訳) を付けて提出すること。
- (5) 障害等があって受験上の配慮を必要とする出願者の事前相談を受け付ける。相談の内容によっては対応に時間を要することもあるため、相談依頼文書 (様式随意、ただし下記情報を含むこと) に障害者手帳の写し又は医師の診断書を添付し、2025 年 5 月 30 日 (金) までに上記出願書類提出先に郵送すること。

【相談依頼文書に明記する事項】

- ・氏名、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス
- ・入学試験を利用する研究科・専攻等の別
- ・障害等の種類、および程度
- ・希望する配慮事項

8. 学力検査日程、入学者選抜方法

(1) 第一次試験

各研究科が行う学力検査日程、入学者選抜方法等の詳細については、「PartⅡ 各研究科別入学試験等詳細」に記載しているので、第一次試験で利用する研究科のページを熟読すること。

(2) 第二次試験（口頭試問）

第二次試験の口頭試問対象者は第一次試験の結果により総合生存学館が決定する。第一次試験合格者及び第二次試験（口頭試問）実施日時等詳細の通知は、合格発表当日中に京都大学大学院総合生存学館（東一条館玄関）に掲示するとともに、入学願書記載のメールアドレスに連絡する。

第二次試験は原則として合格発表日翌日に行い、提出書類（研究計画書）を中心とした口頭試問を行う。

9. 受験票

受験票は、受験票送付用封筒に記入された住所へ利用する研究科の出願期間終了後に郵送する。

なお、海外在住者には受験票をスキャンしたPDFファイルを入学願書に記載のメールアドレス宛に送付するので、紙に印刷したものを持参すること。

10. 合格者発表

総合生存学館において実施する第二次試験（口頭試問）終了後、速やかに京都大学大学院総合生存学館（東一条館玄関）に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付する。

また、合格者の受験番号を学館のホームページに掲載する。

<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/recruitment/admissions-info/>

なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

11. 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円（予定）

(2) 授業料 年額 535,800円（予定）

※納付時期等については合格者に通知する。

※国費外国人留学生は入学料・授業料ともに不要。

※入学料及び授業料は予定額であるため、改定されることがある。入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用される。

12. 注意事項

(1) 出願書類の内容に虚偽事項が発見された場合は、合格あるいは入学後であってもそれを取り消す場合があるので注意すること。

- (2) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱う。入学者選抜を通じて取得した出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所等の個人情報（合否判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金制度等、③入学者の受入準備等の業務目的において利用する。
- (3) 本募集要項における日時の表示については、すべて日本標準時とする。
- (4) 受験案内等詳細を入学願書記載のメールアドレスに送付することがあるので、必ず確認すること。
- (5) 官公庁・会社等に在職のまま入学を希望する者への注意事項
- ①官公庁・会社等に在職のまま入学を希望する者は、事前にアドミッション支援室(AAO)に連絡をとったうえで、研究指導を希望する教員に相談すること。
 - ②所属長の発行する入学承諾書（様式随意）を入学手続き時に提出すること。
 - ③就業については各自の責任において行うこと。

長期履修制度

次のいずれかに該当する者であって、課程修了に至る計画的な履修が可能な方は、審査を経て長期履修学生として履修を許可された場合、在籍期間を最長10年とする（休学期間を除く）。制度の詳細については教務掛に尋ねること。

- (1) 官公庁・企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）及び自ら事業を行っている者などフルタイムの有職者で、計画的に長期履修が可能な者
- (2) 出産、育児又は親族の介護を行う必要がある者
- (3) 障害を有する者

入学試験に関する連絡先

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1 京都大学東一条館
京都大学大学院総合生存学館教務掛
TEL 075-762-2002, 2010
E-Mail gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 業務時間 平日8:30～17:15（12:00～13:00を除く）

なお、8月12日～15日及び12月29日～1月3日は閉室。

Part II 各研究科別入学試験等詳細

(出願書類・学力検査日程・入学試験詳細)

【注意】

- ・各研究科別入学試験等詳細については、昨年度の情報を掲載している研究科もあるため参考情報として確認すること。
- ・各研究科の令和8年度入学者学生募集要項がウェブサイトに掲載され次第、随時更新する。

文学研究科

総合生存学館を志望する者は、文学研究科修士課程冬期募集のみ受験可能である。

以下の情報は、令和7年度文学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項であるため参考として読むこと。文学研究科が令和8年度学生募集要項をウェブサイトに掲載次第、本ページを更新するので随時確認すること。一次出願を行った者には願書記載のメールアドレスに連絡する。(以下に記載している日程等については変更される。)

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の(2) 二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で文学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

研究計画書 (思想文化学専攻、行動文化学専攻、現代文化学専攻の志望者のみ)	思想文化学、行動文化学、現代文化学の専攻志望者については、大学院で取り組みたい研究についての研究計画書(日本語の場合2000字以内、英語の場合1000語以内)を提出してください。
論文及び論文要旨 (それぞれ同じものを2部) ※提出する論文、論文要旨はコピーしたものでも差し支えありません。 ※本学文学部卒業見込み者は提出不要です。 ただし、所属専修以外の専修を志望する場合は必要です。 ※論文と論文要旨については、各1部ずつを封筒に入れてください。	1. 出身大学の卒業論文、又はそれに相当するものを提出してください。 卒業論文の内容が志望する専修と関連がないときは、志望する専修に関連がある論文を作成し提出してください。 (ア) 中国語学中国文学、インド古典学、スラブ語学スラブ文学、ドイツ語学ドイツ文学、英語学英米文学、フランス語学フランス文学、イタリア語学イタリア文学、哲学、西洋哲学史、言語学の専修志望者については、提出論文が日本語、英語または志望専修で主として取り扱う言語(※)の場合、それと同内容の論文を別言語で併せて提出する必要はありません。 ※不明な点があれば、総合生存学館教務掛(075-762-2002)に問い合わせてください。 (イ) 上記以外の専修志望者については、提出論文が外国文の場合、それと同内容の日本語の論文を併せて提出してください。 2. 論文要旨は、日本語 4000 字程度で作成し、論文とは別綴じとしてください。 ただし、英語学英米文学専修志望者の論文が日本語の場合は、その要旨は英語で書いてください。(様式随意)

二次出願書類（共通）及び（研究科別「研究計画書」）の郵送

受付期間：2024年12月3日（火）～2024年12月16日（月）午後4時（必着）

（研究科別「論文及び論文要旨」）の郵送

受付期間：2025年1月6日（月）～2025年1月8日（水）午後4時（必着）

注）期日までに論文及び論文要旨を提出しなかった場合は、第一次試験・第二次試験とも受験できません。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

注) 郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集(2025年4月期)出願書類在中」と朱書(レターパックプラスの場合は「品名」に記載)のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 選抜試験実施方法

選抜試験は以下の内容の第一次試験と第二次試験によって実施します。

第一次試験	(ア) 外国語試験	(イ) 専門科目試験
第二次試験	(A) 専門に関する試験	(B) 口頭試問

一般的注記

- (1) 第二次試験は、第一次試験合格者のみについて実施します。
- (2) 選抜試験全般について、辞書を使用可と特記した以外の試験では、辞書の使用を認めません。
- (3) 外国人留学生(留学、文化活動等の在留資格を有する者)については、第一次試験(ア)の「外国語試験」では、下記の専攻(専修)ごとの注記の指示にかかわらず、すべての受験生に「日本語」の筆記試験が課されます。

3. 選抜試験日程(試験場 京都大学大学院文学研究科)

(1) 第一次試験	外国語 2025年2月7日(金) 午前9時～午前10時30分 専門科目 2025年2月7日(金) 午前11時～午後0時30分 ただし、歴史文化学専攻の全専修は 午前11時～午後1時
(2) 合格者発表 (第一次試験)	2025年2月8日(土) 午後5時頃 総合生存学館教務掛から入学願書記載のメールアドレスに連絡します。 電話、メール等による問い合わせには一切応じません。
(3) 第二次試験	2025年2月10日(月) 午前10時～

4. その他の注意事項

受験に関する注意

- ・筆記試験において使用を許可するのは、黒鉛筆・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴム・時計(計時機能のみ)に限ります。
- ・試験室への入室は、係員の指示に従うとともに、必ず受験票を係員に呈示してください。

専攻（専修）ごとの注記

	第一次試験	第二次試験
文 献 文 化 学 専 攻	(ア) 外国語試験 英語・独語・仏語のうち一つを選んでください。 ただし、以下の制限があります。 ・インド古典学：英語を選択 ・フランス語学フランス文学：英語・独語から一つを選択 ・ドイツ語学ドイツ文学：英語・仏語から一つを選択 ・英語学英米文学：独語・仏語から一つを選択 (イ) 専門科目試験 各専修において、志望する専修に関する基礎的学力を問う筆記試験を行います。 ただし、インド古典学と仏教学専修では、サンスクリットの読解問題を含みます。	(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。 ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。 ・中国語学中国文学：英語の読解力を問う問題を含みます。 ・インド古典学：独語あるいは仏語のうちの読解力を問う問題を含みます。 ・仏教学：チベット語と漢文に加えて、独語あるいは仏語のうちの読解力を問う問題を含みます。 (B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。 ただし、フランス語学フランス文学専修志望者には、フランス語による口頭試問も行います。

	第一次試験	第二次試験
思想文化学専攻	(ア) 外国語試験 英語の筆記試験を行います。 (イ) 専門科目試験 志望する専修に関する基礎的学力を問う筆記試験を行います。 ただし、各専修の内容については、以下を参照してください。 ・哲学: 哲学と西洋哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。(西洋哲学史と共通) ・西洋哲学史: 哲学と西洋哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。(哲学と共通) ・日本哲学史: 日本哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験、および外国語試験(英語、独語、仏語のうち、(ア)で選択しなかったもので、かつ母語でないものを一つ選ぶ)を行います。 ・倫理学: 倫理学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。 ・宗教学: 宗教哲学・宗教学の基礎学力を問う筆記試験と、外国語試験(英語、独語、仏語のうち、(ア)で選択しなかったもので、かつ母語でないものを一つ選ぶ)を行います。出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に受験を希望するものを必ず登録してください。 ・キリスト教学: キリスト教学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います(ヘブライ語、ギリシア語、ラテン語のうち一つの基礎的語学能力を問う問題を含みます)。 ・美学美術史学: 美学美術史学に関する基礎学力を問う筆記試験(日本語)と外国語試験を行います。外国語試験は、英語、独語、仏語、伊語から2科目を選択。ただし、日本・東洋美術史学専攻希望者に限り、英語、独語、仏語、伊語、漢文、日本語(古文)から2科目を選択することができます。	(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。 ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。 ・哲学: 英語、独語、仏語および論理学のうち第一次試験(ア)で選択しなかった科目の筆記試験を行います。出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に受験を希望するものの一つを必ず登録してください。 ・西洋哲学史: 近世を志望する場合、英語、独語、仏語のうち一つの筆記試験を行います。第一次試験(ア)で、英語を解答したものは、英語は選択できません。出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に受験を希望するものの一つを必ず登録してください。古代を志望する場合にはギリシア語、中世を志望する場合はラテン語を選択する必要があります。出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に該当する言語一つを登録してください。ギリシア語については、試験時に希英辞書を貸与します。 ・日本哲学史: 日本哲学史に関する専門知識を問う筆記試験を行います。 ・倫理学: 英語、独語、仏語のうち第一次試験(ア)で選択しなかったものの一つの筆記試験を行います。出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に受験を希望するものの一つを必ず登録してください。 ・宗教学: 宗教哲学的思考力を問う論述試験を行います。 ・キリスト教学: 英語、独語、仏語のうち、第一次試験(ア)で選択しなかったものの一つの筆記試験を行います。出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に、受験を希望するものを登録してください。 ・美学美術史学: 美学美術史学に関する専門試験(日本語による論述試験)を行います。 (B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。

	第一次試験	第二次試験
歴史文化学専攻	(ア) 外国語試験 英語・独語・仏語のうち一つを選んでください。 (イ) 専門科目試験 志望する専修に関する専門試験を行うとともに、歴史文化学専攻の他の 4 専修に関する設問から 1 問を選択して解答する筆記試験を行います。	(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。 ・日本史学: 史料と古文書の読解力を判定する筆記試験を行います。 ・東洋史学: 古典中国語(漢文)の読解力を判定する筆記試験を行います。 ・西南アジア史学: イスラーム時代専攻の受験者にはアラビア語・ペルシア語・トルコ語のうちから一言語の外国語試験、古代オリエント史等専攻の受験者には独語・仏語・露語のうちから一言語の外国語試験を行います(いずれの言語を選択した場合も、試験時に貸与もしくは使用を許可された辞書の使用可)。出願の際に「出願内容ー専修選択科目の事前選択」の箇所に、必ず選択する言語を登録するようにしてください。 ・西洋史学: 第一次試験(ア)で受験した外国語以外のもう一言語の外国語試験(英語、独語、仏語、伊語、露語、スペイン語、ポーランド語、オランダ語から選択)と専門に関わる筆記試験を行います。出願の際に「出願内容ー専修選択科目の事前選択」の箇所に、必ず第二次試験で受験する言語を登録してください。 ・考古学: 遺物観察・記録のための基礎技術を修得していることを判定する実技試験、もしくは外国語を含む専門知識に関わる筆記試験を行います。 (B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。

	第一次試験	第二次試験
行動文化学専攻	(ア) 外国語試験 英語の筆記試験を行います。 (イ) 専門科目試験 志望する専修に関する基礎的学力を問う筆記試験を行います。	(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。 ただし、社会学専修と地理学専修の試験内容については、以下を参照してください。 ・ 社会学：外国語と社会学に関する筆記試験を行います。外国語試験は、第一次試験で英語を受験した者は独文和訳・仏文和訳・和文英訳問題から一つを、第一次試験で日本語を受験した者は独文和訳・仏文和訳・英文和訳・和文英訳問題から一つを、選択してください。出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に受験を希望するもの一つを必ず登録してください。 ・ 地理学：地理学文献の和文英訳について、筆記試験を行います。 (B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。

	第一次試験	第二次試験
現代文化学専攻	(ア) 外国語試験 英語の筆記試験を行います。 (イ) 専門科目試験 志望する専修に関する基礎的学力を問う筆記試験を行います。	(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。 ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。語学辞書の持ち込みを認めます（電子辞書は不可）。 ・科学哲学科学史：専門に関わる和文英訳の試験を行います。（試験の際に、希望者には和英辞書を貸与します。） ・メディア文化学：和文英訳の試験および専門に関わる筆記試験を行います。 ・現代史学：外国語試験および専門に関わる筆記試験を行います。外国語試験で選択できるのは、英語・独語・仏語・露語・伊語・中国語・朝鮮語のうち一つです。出願の際に「出願内容－専修選択科目の事前選択」の箇所に、第二次試験で選択する外国語を必ず登録してください。 ただし、 ・英語・独語・仏語・露語・伊語・中国語・朝鮮語を母語とする者はそれぞれその言語を選択することはできません。 ・第一次試験で英語を受験した者は英語を選択することはできません。 (B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。

教育学研究科

総合生存学館を志望する者は、教育学研究科修士課程（研究者養成プログラム）入試のみ受験可能である。ただし、当該入試については、外国人留学生は受験できない。

以下の情報は、令和8年度教育学研究科修士課程（研究者養成プログラム）学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で教育学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

研究経過報告書	同一内容のもの4部。別紙Ⅰ「研究経過報告書作成要領」に従うこと。 学館の第二次試験に必要なので、コピーを取っておくこと。
研究計画書	同一内容のもの4部。別紙Ⅱ「研究計画書作成要領」に従うこと。 学館の第二次試験に必要なので、コピーを取っておくこと。
エビデンス資料	上記「研究経過報告書」、「研究計画書」に関連する各種資料があれば提出すること。（論文、報告書、発表資料等。外国語能力を示す書類を含めてもよい。コピーでもよい。）A4判のファイル（クリアブック等）1冊にまとめて綴じ、表紙に氏名を明記すること。学館の第二次試験に必要なので、コピーを取っておくこと。 （詳細については、別紙Ⅲ「『研究経過報告書』・『研究計画書』」に添付するエビデンス資料に関する注意事項」を参照。）

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025年8月1日（金）～2025年8月7日（木）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 入学者選抜方法等

選抜は、第1次試験（筆記試験）により行う。総合生存学館を志望する者には教育学研究科で行われる第2次試験（口頭試験）は課さない。

第1次試験（筆記試験） 2025年9月2日（火）

コース	外国語	専門科目	場所	
	9：00 ～ 10：15	10：50 ～ 12：50	京都市左京区吉田本町 京都大学本部構内又は 吉田南構内 (詳細は受験票送付時 に通知する)	
教育哲学・教育史学 ※	英語、ドイツ語、 フランス語、中国 語の中から1つを 選択。	①教育哲学 ②教育史学		
教育方法学・発達科学 ※		③教育方法学 ④発達科学		
臨床教育学		⑤教育人間学・ 臨床教育学		
教育認知心理学		⑥教育認知心理学		
臨床心理学	⑦臨床心理学			
教育文化学 ※	⑧教育社会学 ⑨図書館情報学 ⑩メディア文化学			
比較教育政策学 ※	⑪比較教育学 ⑫教育政策学 ⑬文化政策学 ⑭生涯教育学			
高等教育学	⑮高等教育学			
備考	専門科目試験に関する注意事項 特に指定された場合を除き、日本語で解答すること。 志望コースに対応した専門科目を受験すること。 ※印のコースを志望する者は、あらかじめ選択する専門科目を決めること。選択した科目以外で受験することは認めない。			

ただし、台風などの気象状況等を理由に第1次試験を延期する場合の予備日を9月3日（水）とする。予備日に関する連絡事項は、受験票送付時に通知する。

3. その他

別紙Ⅰ「研究経過報告書作成要領」、別紙Ⅱ「研究計画書作成要領」及び別紙Ⅲ「『研究経過報告書』・『研究計画書』に添付するエビデンス資料に関する注意事項」については、京都大学大学院教育学研究科修士課程学生募集要項で確認すること。

法学研究科

総合生存学館を志望する者は、第一次試験で法学研究科法政理論専攻修士課程（研究者養成コース）の一般選抜入学試験（学科試験）を利用する受験のみ可能である。

ただし、総合生存学館の教員の研究指導を希望する者は受験を認めない。

以下の情報は、令和8年度法学研究科法政理論専攻修士課程（研究者養成コース）学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で法学研究科の入学試験（学科試験）を利用する受験者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

研究計画書	「研究テーマとその説明」として、2,000字程度で記入すること。 様式については、総合生存学館ウェブサイトからダウンロードすること。
-------	---

二次出願書類（共通及び研究科別）の郵送

受付期間：2025年7月16日（水）～2025年7月23日（水）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の追跡可能な手段によるものとし、封筒の表に

「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 第一次試験選抜方法

学科試験

① 筆答試験

A. 下記※（a）の外国語科目の中から1科目

B. 法学研究科の修士課程に相当する期間（通常2年間）に研究を志望する科目（下記※（b）専門科目を参照）1科目（専門科目①）

C. 下記※（b）専門科目の中から、上記B. で選択したものを除く1科目（専門科目②）

◎ 総合生存学館は、入学予定者が法学研究科の修士課程に相当する期間について、願書に記された「研究を志望する科目」及び「受入承諾書」をもとに、法学研究科教員への研究指導を委託する。

「研究を志望する科目」は、法学研究科の修士課程に相当する期間を通じて原則として変更することとはできない。

※試験科目

(a) 外国語科目	英語 ドイツ語 フランス語	
(b) 専門科目	基礎法学分野	日本法史 西洋法史 ローマ法 東洋法史 法哲学 法社会学 フランス法
	公法分野	憲法 行政法 租税法 国際法
	民刑事法分野	民法 商法 知的財産法 労働法 社会保障法 民事手続法（試験範囲は民事訴訟法に限る。） 国際私法 国際取引法 刑法 刑事手続法 刑事学
	政治学分野	政治学 政治思想史 政治史 日本政治外交史 国際政治学 国際政治経済分析 比較政治学 アメリカ政治 政治過程論 行政学 公共政策

② 口述試験

A. 口述試験の対象者については、総合生存学館教務掛から受験者に郵送で通知する。

B. 口述試験は、受験者の法学又は政治学の学力・素養について、提出された研究計画書等を資料として試問を行う方法により実施する。

3. 試験日時と場所

学科試験

① 筆答試験 2025 年 9 月 2 日（火）に行う。（※試験時間割参照）

なお、試験開始は午前 9 時 30 分、1 科目につき試験時間は 2 時間とする。

② 口述試験 2025 年 10 月 9 日（木）、10 日（金）又は 11 日（土）に実施する。

いずれの実施日に行うかを含めて、詳細な実施日時は受験者に通知する。

※試験時間割（試験当日は、9:10 までに受験票送付時に通知する試験室に集合すること）

実施日	科目	時間	備考
2025 年 9 月 2 日（火）	外国語科目	9：30-11:30	専門科目は、1 科目につき試験時間は 2 時間とする。 試験開始 2 時間後、専門科目①の答案を回収し、引き続き、専門科目②を実施する。 <u>※14：30－14：40 は、トイレ等による一時退室も認めないので注意すること。</u>
	専門科目①	12:30-14:30	
	(専門科目①の答案回収 14:30-14:40)		
	専門科目②	14:40-16:40	
2025 年 9 月 3 日(水)	予備日		

※試験場所

京都大学大学院法学研究科（京都市左京区吉田本町）

※暴風警報の発令等により試験実施が困難な場合に、予備日を利用して試験の実施日程を繰り下げることがある。試験日を変更する場合は、総合生存学館教務掛から願書記載のメールアドレスに連絡するので、受験者は必ず確認すること。

注意事項

- ① 筆答試験で使用を許すものは、筆記具（黒色の万年筆又はボールペン。ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないもの）、時計（計時機能だけのもの）に限る。腕時計は着用せず、机上に置いて使用すること。携帯電話等の電子機器は時計として利用することができない。
- ② 携帯電話等の電子機器は、試験室に入る前に必ず電源を切ってカバンに入れておくこと。身につけている場合、不正行為とみなされることがある。
- ③ 口述試験当日は、研究計画書の控えを持参すること。
- ④ 試験場へ入場する際は、必ず受験票を係員に呈示すること。

経済学研究科

総合生存学館を志望する者は、経済学研究科修士課程（一般選抜）の「研究者養成プログラム」のみ受験可能である。

以下の情報は、令和8年度経済学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で経済学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

GPA 計算書及び 根拠資料 (原本1部、写し3部 計4部)	京都大学経済学研究科 Web サイトからダウンロードし、A4 サイズ（片面）で提出してください。 記入については、所定様式の指示に従ってください。 また、GPA 計算の根拠資料として、成績証明書写し等の科目名の横にどの分野の科目としたかが分かるよう分野番号（①～⑥）の番号を記載したものを提出してください。 GPA 計算書と根拠資料は合わせて左上ホッチキス止めし、同一の内容のものを4部（原本1部、写し3部）提出してください。
TOEFL Score Report	・ TOEFL iBT テストの <u>公式スコアレポート (Official Score Report)</u> を ETS (Educational Testing Service) から本学に直接送付する手続きを必ず取るとともに、<u>受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report)</u> (オンラインで出力したものでも可) を出願時に同封し提出してください。 ・ 2023 年 8 月 1 日以降に受験した成績を有効とします。 ・ TOEFL iBT テストの Test Date スコアのみを出願スコアとして活用します。（MyBest™スコアは活用しません） ・ TOEFL が実施する他の試験（団体試験である TOEFL ITP など）は認められませんので注意してください。 ・ TOEFL iBT テスト自宅受験「TOEFL iBT Home Edition」のスコアは無効とします。 ・ 提出後の Score Report の変更は認めません。また、書類の不正が認められた場合には合格を取り消します。 ・ 受験後から Score Report の到着が非常に遅れる場合もありますので、十分な時間的余裕を持って、TOEFL を受験してください。 ・ 送付手続きの際の送付先のコード (Institution Code) は「9501 (京都大学)」です。「9501」が指定されていれば、別に求められる Department Code はどのように指定されていても構いません。 ・ Score Report は、出願期間終了までに本学で確認可能（オンライン含む）なように手配してください。到着確認の問合せは受け付けておりません。
学業・人物評価書	京都大学経済学研究科 Web サイトからダウンロードし、A4 サイズ（両面、1 枚）で提出してください。 所定様式に、指導教員等大学教員1名が作成したもの。指導教員等が不

	在の場合は、自身で作成したものも提出可とする。
研究計画書 (4部)	京都大学経済学研究科 Web サイトからダウンロードし、A4 サイズ（片面、左上ホッチキス止め）で同一の内容のものを 4 部提出してください。 修士課程での研究計画について日本語または英語で作成してください。研究分野の選択にあたっては、各分野の担当教員一覧を参考に希望する指導教員の所属する分野を選択してください。
日本語能力試験 N1 レベル の証明書	※外国籍出願者のみ提出してください。 外国籍出願者は「日本語能力試験 N1 レベルの証明書」を出願書類として必ず提出してください。ただし、日本の 4 年制大学を卒業または卒業見込みの者（日本語以外での学位取得者は除く）は提出不要です。 出願書類として認めるものは、公益財団法人日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施している日本語能力試験 N1 レベルの「日本語能力認定書」、または「認定結果及び成績に関する証明書」のみとします。

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025 年 7 月 11 日（金）～2025 年 7 月 17 日（木）午後 5 時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026 年 4 月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 試験日程等

研究者養成プログラム

第 1 次選抜：書類選考

出願書類による選考を実施します。

（総合生存学館を志望する者には経済学研究科で行われる第 2 次選抜（口述試験）は課さない。）

理学研究科

総合生存学館を志望する者は、理学研究科修士課程入試のみ受験可能である（特別選抜受験不可）。

以下の情報は、令和8年度理学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

注：受入れができない系、分科若しくは教員もいるため、本募集要項「2. 京都大学アドミッション支援室（AA0）への事前相談」を確認して、必ず出願前に受入れ照会を行うこと。

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で理学研究科を受験する者は以下の研究科・専攻別の出願書類を提出すること。

○理学研究科＜数学・数理解析専攻（数学系）＞

数学系 志望研究分野調査書・レポート	数学・数理解析専攻（数学系）の志願者は、京都大学理学研究科ウェブサイトから「志望研究分野調査書」をダウンロードし、「志望研究分野調査書」で指定されたレポートと合わせて提出してください。 注）総合生存学館を受験する者は、第1希望分野のみ記入すること。第2希望分野以下は受け付けない。
-----------------------	---

○理学研究科＜物理学・宇宙物理学専攻（物理学第一分野、物理学第二分野、宇宙物理学分野）＞

レポート	物理学・宇宙物理学専攻の志願者は、「学力審査一覧」で指定されたレポートを提出してください。
英語外部検定試験 スコアレポート	物理学・宇宙物理学専攻の志願者は、TOEIC®（L&R）の成績証明書（Official Score Certificate、公式認定証）の原本、またはデジタル認定証のコピーを提出してください。
物理学第二分野（理論）サブグループ希望調査書	物理学・宇宙物理学専攻（物理学第二分野）の理論分科の志願者は、京都大学理学研究科ウェブサイトから「サブグループ希望調査書」をダウンロードし提出してください。
宇宙物理学分野 分科希望調査書	宇宙物理学分野の志願者は、京都大学理学研究科ウェブサイトから「分科希望調査書」をダウンロードし提出してください。

○理学研究科＜地球惑星科学専攻（地球物理学分野、地質学鉱物学分野）＞

レポート	地球惑星科学専攻の志願者は、「学力審査一覧」で指定されたレポートを提出してください。
------	--

○理学研究科＜化学専攻＞

英語外部検定試験 スコアレポート	化学専攻の志願者は、TOEFL iBT®、IELTS™、英検又は TOEIC®（L&R）の英語外部検定試験スコアを提出してください。
英語外部検定試験 チェックシート	京都大学理学研究科ウェブサイトから「英語外部検定試験チェックシート」をダウンロードし、英語外部検定試験スコアレポートを提出する方法を記入してください。

○理学研究科＜生物科学専攻（動物学系、植物学系、生物物理学系）＞

小論文	生物科学専攻の志願者は、京都大学理学研究科ウェブサイトから所定の様式をダウンロードし「小論文」を提出してください。
英語外部検定試験スコアレポート	生物科学専攻の志願者は、TOEFL iBT®、IELTS™、英検又は TOEIC®（L&R と S&W の両方）の英語外部検定試験スコアを提出してください。
英語外部検定試験チェックシート	京都大学理学研究科ウェブサイトから「英語外部検定試験チェックシート」をダウンロードし、英語外部検定試験スコアレポートを提出する方法を記入してください。

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025 年 6 月 23 日（月）～2025 年 6 月 27 日（金）午後 5 時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026 年 4 月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 学力考査日程等

学力考査初日は必ず考査開始15分前までに下記の場所に集合し、掲示等の指示に従ってください。

専攻	系・分野	集合場所
数学・数理解析専攻	数学系	理学研究科6号館（南棟）4階ホール
物理学・宇宙物理学専攻	物理学第一分野 物理学第二分野 宇宙物理学分野	理学研究科6号館ピロティ
地球惑星科学専攻	地球物理学分野 地質学鉱物学分野	理学研究科6号館ピロティ
化学専攻		理学研究科6号館（南棟）4階ホール
生物科学専攻	動物学系 植物学系 生物物理学系	理学研究科1号館5階大会議室（517号室）

専攻（系・分野）分科等の教員及び研究内容について

以下の理学研究科ホームページに掲載していますので、参照してください。なお、募集分科については、理学研究科修士課程学生募集要項「2. 専攻及び分科」を確認してください。

・入試情報＞大学院入試・専攻（系・分野）における分科等の教員及び研究内容

<https://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/laboratories.html>

注：受入れができない系、分科若しくは教員もいるため、本募集要項「2. 京都大学アドミッション支援室（AA0）への事前相談」を確認して、必ず出願前に受入れ照会を行ってください。

学力考查一覧

学力考查は、次の試験区分Ⅰ～試験区分Ⅴの区分ごとに行います。

試験区分Ⅰ

＞数学・数理解析専攻（数学系）

事項	年月日	時間	科目	備考
筆答試問	2025年 8月19日（火）	午前9:00～ 午後0:30	基礎科目	参考書、ノート類、時計類の持込みを禁止します。 計算問題を主とした初歩的な内容と、数学の各分野の基礎的な問題を出題します。 問題には英訳が併記されます。
		午後1:45～ 午後4:15	専門科目	参考書、ノート類、時計類の持込みを禁止します。 代数学、幾何学、解析学、物理学、応用数学、情報科学の分野の問題の中から、志望に応じて選択します。問題には英訳が併記されます。
		午後4:45～ 午後5:00	英語	参考書、ノート類、辞書類、時計類の持込みを禁止します。
1次合格者発表	8月20日（水）	午後5:00		数学教室の掲示板に発表します。Webページでも発表します。
口頭試問	8月21日（木）	午前9:00～		口頭試問は1次合格者だけを対象とします。 数学系
口頭試問	8月22日（金）	午前9:00～		数学系
口頭試問	8月23日（土）	午前9:00～		数学系
口頭試問	8月24日（日）	午前9:00～		数学系（予備日）

注）1 志望研究分野調査書：志願者は、出願書類と同時に、志願者が希望する研究分野について所定の調査書とレポートを提出してください。（「1. 出願書類（研究科別）」参照）

2 英語の試験の内容については数学・数理解析専攻のホームページをご覧ください。

<https://www.math.kyoto-u.ac.jp/ja/applicant-guidelines>（数学系）

試験区分Ⅱ

➤物理学・宇宙物理学専攻（物理学第一分野、物理学第二分野、宇宙物理学分野）

1) これまでに勉強したことで物理学宇宙物理学に関して特に関心をもった内容について A4用紙片面2ページ以内および 2) 志望した分科または分科群を選んだ理由を A4用紙片面2ページ以内のレポートを出願書類と同時に提出してください。2) については、第1志望だけでなくその他の志望についても記載してください。数式や図を挿入してもかまいません。また、レポートは自筆で書いても、コンピューター等を使って作成してもかまいません。

事項	年月日	時間	科目	備考
筆答試問 (対面)	2025年 8月18日 (月)	午前9:00～ 午前12:00	物理学	物理数学を含みます。筆記用具以外の使用は認めていません。 台風や交通障害があった場合の予備日
		午後1:30～ 午後4:30	物理学	
(予備日) 8月20日 (水)				
第一次合格者発表	8月26日 (火)	午後3:00頃		Web ページで発表します。
口頭試問 (オンライン)	8月27日 (水)～ 8月28日 (木)	午前9:00～		口頭試問は第一次合格者を対象とします。口頭試問では、レポートの内容について、そして物理学あるいは宇宙物理学に関する知識（実験・観測を含む）についての試問を行います。
(予備日) 8月29日 (金)				

注)

- 英語能力の評価は英語外部検定試験の公式スコアを用います。対象となる英語外部検定試験は、TOEIC® Listening & Reading Test スコアです。そのため、出願書類に外部英語試験のスコアレポートを含むことになります。なお、提出できない場合でも、受験資格を失うわけではありません。（その場合は、英語の点数を零点と扱います。） スコアレポートは、当該試験実施年の2年前の9月（2023年9月）以降に受験したものに限り有効とします。提出方法は「1. 出願書類（研究科別）」を参照してください。なお、スコアレポートは、返却いたしません。
- 物理学第一分野の志望者は、入学願書の志望欄には、志望分科群をあらわす記号 E1, E2, E3, T1, T2 に引き続き、括弧内にいれて志望分科名を記入してください。同じ分科群記号を複数の志望欄に記入してもかまいません。
ただし、第3志望と第4志望については、括弧内に*印を記入し、志望分科群内の全ての分科を志望することができます。合格者は分科毎に定めます。なお、誤って*印を第1志望と第2志望に記入した場合は、その志望欄を空白（無効）とみなします。
物理学第一分野を志望する場合の願書の記入例は、
(<https://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/research/group/physics-1/admission.html>)
を参照してください。
- 物理学第二分野の志望者は、願書の志望欄には志望する分科名を記入してください。ただし、第3志望と第4志望には「実験系分科群」を記入することも出来ます。「実験系分科群」を記入した場合は、この分科群に属する7つの実験系分科（原子核・ハドロン物理学、ビーム物理学、素粒子物理学、宇宙線物理学、核放射物理学、核ビーム物性学、レーザー物質科学）を全て志望するものとみなします。この場合、
・第1、第2、第3志望欄のいずれかに物理学第二分野の実験系の分科名が記入されていてもかまいません。
・合格は分科群ではなく分科で出します。
なお、誤って「実験系分科群」を第1志望と第2志望に記入した場合は、その志望欄を空白（無効）とみなします。

物理学第二分野の理論系分科（素粒子論、原子核論、天体核物理学）の志望者は願書の志望欄には分科名のみを記入してください。これらの分科を志望する場合は、「サブグループ希望調査書」を提出してください。（「1. 出願書類（研究科別）」参照）

物理学第二分野の実験系分科の口頭試問は、強い関心を持った実験・観測に関する口述を含みます。特に自分で行った実験・観測を推奨します。

- 4 宇宙物理学分野の志願者は、「物理学・宇宙物理学専攻（宇宙物理学分野）分科希望調査書」に、希望する分科名を順に記入してください（「1. 出願書類（研究科別）」参照）。入学願書の志望欄には、「理論宇宙物理学」および／または「天体プラズマ物理学」のみを志望する場合は「理論」、それら以外のみを希望する場合は「観測」と記入してください。「理論」「観測」両方が志望に含まれる場合は、分科として「理論」「観測」の二つを、志望順に沿って記入してください。宇宙物理学分野を志望する場合の願書の記入例は、

（<http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/examination/exam.html>）を参照してください。

- 5 入学願書の志望分野・分科欄に記入された全ての分科は本人が研究意欲を持つ分科として選考にあたり重視されるので、受験者は慎重に記入してください。
- 6 過去入試問題は、物理学・宇宙物理学専攻のホームページからダウンロードできます。
<https://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/education/inshi/>
- 7 口頭試問の日時に関する受験生の希望は受け付けません。

試験区分Ⅲ

＞地球惑星科学専攻（地球物理学分野、地質学鉱物学分野）

事項	年月日	時間	科目	備考
筆答試問	2025年 8月4日（月）	午前9:00～ 午前11:30	英語	TOEFL-ITP 試験の解答時間は約2時間（リスニングを含む）で、解答はマークシート方式です。時計類、辞書類の持ち込みを禁止します。また、TOEFL-iBT等のスコアをもって代えることはできません。
		午後1:00～ 午後3:00	基礎科目	地球惑星科学に関する基礎科目からの設問*（数学1問、物理学2問、化学1問、地質学鉱物学2問、プレートテクトニクス関連1問）より、2問を選択して解答してください。時計類、定規類、電卓類の持ち込みを禁止します。
口頭試問	8月5日（火）	午前9:00～		提出されたレポートをもとに口頭試問を行います。 口頭試問は地球物理学分野と地質学鉱物学分野とで別々に実施します。各受験者の口頭試問の場所、時刻は8月4日（月）午後4時頃までに地球物理学教室及び地質学鉱物学教室の事務室前に掲示します。
予備日	8月6日（水）			台風や交通障害があった場合の予備日

注)

- 1 受験者は出願書類に加えて次のレポートを提出してください。①・②それぞれ A4 判 1 枚（裏面使用不可）で、日本語または英語で作成してください。

①これまでに勉強したことや携わった研究・調査などで（地球惑星科学の分野に限りません）、地球惑星科学への志望に関連して特に関心を持った内容

②大学院において研究したい内容

- 2 上記のレポートをテーマにして志望分野別に口頭試問を行います。口頭試問では、専門分野の適性及び知識、研究への意欲等を評価します。口頭試問においては黒板の使用はできますが、パソコン・プロジェクター、タブレット端末などの電子機器の使用はできません。ただし、プリント配付はできます。また、配布資料を見てもかまいません。口頭試問は日本語で実施しますが、希望する場合は英語でも実施します。

地球物理学分野：レポートの内容を15分以内で説明してください。引き続き約15分間の試問を行います。配付資料がある場合は、配付部数は5部とし、A4判で各部5枚以内（裏面使用不可、カラー可）としてください。

地質学鉱物学分野：レポートの内容を10分以内で説明してください。引き続き約5分間の試問を行います。配付資料がある場合は、配付部数は16部とし、A4判で各部5枚以内（裏面使用不可、カラー可）としてください。

※ 数学は、主に微積分、線形代数、微分方程式、ベクトル解析、フーリエ解析の範囲から出題します。物理学は、主に力学、振動・波動論、電磁気学の範囲から出題します。化学は、主に気体分子運動論、化学平衡論、反応速度論、熱化学、原子の構造の範囲から出題します。地質学鉱物学は、主に岩石学、鉱物学の範囲から1問、古生物学、堆積学、古環境学、構造地質学の範囲から1問出題します。プレートテクトニクスは、主にプレートテクトニクスに関連する基礎知識と理解を問います。

なお過去入試問題は、地球惑星科学専攻のホームページからダウンロードできます。
<http://www.eps.sci.kyoto-u.ac.jp/education-md/exam-m/index.html>

試験区分Ⅳ

＞化学専攻

事項	年月日	時間	科目	備考
筆答試問	2025年 8月21日（木）	午後 1:00 ～午後3:00	基礎科目	1. 下記 6 科目から、3 科目を選択し解答します。 「物理学」「物理化学」「無機化学」 「有機化学」「生化学」「分析化学」 2. 計算機(関数計算機能をもつもの)を貸与します。
		午後 3:30 ～午後5:30	専門科目	1. 下記 5 科目から、2 科目を選択し解答します。 「物理学」「物理化学」「無機化学」 「有機化学」「生化学」 2. 計算機(関数計算機能をもつもの)を貸与します。
予備日	8月22日（金）		8月21日（木）の筆答試問当日に台風等があった場合の予備日	

注)

- 英語能力の評価のため、英語外部検定試験の公式スコアを提出してください。対象となる英語外部検定試験は、TOEFL iBT®（Test Date スコアを提出；Home Edition も可）、IELTS™（アカデミック・トレーニングとジェネラル・トレーニングのいずれも可）、英検（英検 S-CBT も可）、TOEIC®（L & R）です。どの外部検定試験についても、本大学院入学試験からさかのぼって2年以内（2023年9月以降）に実施された外部検定試験の公式スコアを有効としますのでご注意ください。提出方法は募集要項「1. 出願書類（研究科別）」を参照してください。出願時にスコア提出が出来ない場合には、試験日の2週間前まで（必着）にスコアを提出することで受験可能とします。どの外部検定試験においても、様々な障がい等がある方への合理的配慮に基づいた試験実施とスコア算出の対応が講じられており、各試験のホームページにて情報が公開されています。化学専攻では、そうした配慮に基づいて実施された試験の公式スコアを有効としますので、受験生それぞれに合った外部検定試験を選択して受験してください。
- 筆答試問の解答言語は、日本語あるいは英語によるものとします。なお筆答試問の出題は日本語で行います。
- 「物理学」は、物理学科など物理学を専門とする学科の標準的学部履修範囲から出題します。
- 選択科目については科目間に生じる平均点等の差に対し得点調整を行います。
- 化学専攻ホームページ（大学院修士課程入学試験募集要項）・（過去入試問題）

<https://www.kuchem.kyoto-u.ac.jp/>

試験区分Ⅴ

➤生物科学専攻（動物学系、植物学系、生物物理学系）

事項	年月日	時間	科目	備考
筆答試問	2025年 8月5日（火）	午後1:30～ 午後3:00	一般基礎 科目	生物学16問、物理学2問、化学2問、数学2問の計22問より、6問を選択してください。ただし、6問中少なくとも2問は生物学の問題を選択してください。日本語または英語で解答してください。
口頭試問	8月6日（水）	午前9:00～		提出された小論文をもとに、志望する分科ごとに試問（各分科につき30分）を行います。 各分科の専門分野に関する理解度を評価するための試問を含みます。
予備日	8月7日（木）			台風や交通障害があった場合の予備日

注)

- 1 志願者は、入学願書に専攻内の志望分科を2つまで記入できます。
- 2 志願者は出願書類に加えて、大学院において研究したい内容についてまとめた小論文を提出してください（「1. 出願書類（研究科別）」参照）。なお小論文は第1志望、第2志望それぞれ A4判 1 ページ以内とし、日本語または英語で作成してください。
- 3 英語能力の評価のため、英語外部検定試験の公式スコアを提出してください。対象となる英語外部検定試験は、TOEFL iBT®（Test Date スコアを提出；Home Edition も可）、IELTS™（アカデミック・トレーニングとジェネラル・トレーニングのいずれも可）、英検（英検 S-CBT も可）、TOEIC®（L&R と S&W の両方が必要）です。英検については、公式スコアに代えて個人成績表を提出しても構いません。どの外部検定試験についても、本大学院入学試験からさかのぼって2年以内（2023年9月以降）に実施された外部検定試験の公式スコアを有効としますのでご注意ください。提出方法は募集要項「1. 出願書類（研究科別）」を参照してください。出願時にスコア提出が出来ない場合には、7月29日（火）までに（郵便・窓口に関わらず17:00必着）スコアを提出することで受験可能とします。どの外部検定試験においても、様々な障がい等がある方への合理的配慮に基づいた試験実施とスコア算出の対応が講じられており、各試験のホームページにて情報が公開されています。生物科学専攻では、そうした配慮に基づいて実施された試験の公式スコアを有効としますので、受験生それぞれに合った外部検定試験を選択して受験してください。
- 4 台風などによる予備日使用の詳細に関しては、受験票の発送時に出願者に別途お知らせするとともに、ホームページでお知らせします。
- 5 過去入試問題や英語外部検定試験スコアの換算方法などの考査に関する情報については生物科学専攻大学院入試ホームページを参照ください。

医学研究科医科学専攻

総合生存学館を志望する者は、医学研究科医科学専攻修士課程入試のみ受験可能である。

以下の情報は、令和7年度医学研究科医科学専攻修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項であるため参考として読むこと。医学研究科医科学専攻が令和8年度学生募集要項をウェブサイトに掲載次第、本ページを更新するので随時確認すること。一次出願を行った者には願書記載のメールアドレスに連絡する。（以下に記載している日程等については変更される。）

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で医学研究科医科学専攻を受験する者は以下の研究科・専攻別の出願書類を提出すること。

志望理由書	京都大学医学研究科ウェブサイトから所定の様式をダウンロードのうえ、必要事項を記入のこと。別紙の添付は不可。
外部試験（「TOEFL-iBT」、 「TOEIC Listening & Reading Test」のいずれか）の成績スコア	以下のいずれかのスコアレポート等の原本1通を同封すること。スコアレポート等は出願締切日の2年前以降に受験したものに関し有効とする。 ○TOEFL-iBT ：受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report) の原本 ・ MyBEST スコアは採用せず、Test Date スコアを採用する。 ・ TOEFL-iBT Home Edition、TOEFL-ITP、TOEIC 団体特別受験制度等のスコアレポートは受け付けない。 ○TOEIC Listening & Reading Test ：公式認定証 (Official Score Certificate) の原本 ※出願時に TOEFL-iBT スコアレポートまたは TOEIC Listening & Reading Test 公式認定証の原本の提出が間に合わない場合は、その旨を記載した理由書及び Web 上で確認できるスコアの PDF ファイルを印刷したものを提出し、試験前日（17 時必着）までに原本を提出すること。締切までに原本が提出されない場合は受験を認めない。 なお、より良い点数のスコアレポートと差替えることも認めない。

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2024 年 7 月 3 日（水）～2024 年 7 月 9 日（火）午後 5 時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2025 年 4 月期）出願書類在中」と朱書（レターパック

クプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 入学者選抜方法

学力検査、外部試験の成績スコア、志望理由書及び成績証明書を資料とし、総合して判定する。

(1) 学力検査

日時		科目		試験場
2024 年 8 月 20 日（火）	9 時 30 分～11 時 10 分	基礎生物学（1 問）、 生物学（2 問）	筆答	京都大学 医学研究科
2024 年 8 月 21 日（水）	予備日（暴風警報の発令等により 8/20 の試験が実施困難な場合に予備日を利用して試験を実施する）			

注①試験室へは 9 時 00 分までに入室すること。

注②暴風警報の発令等により試験実施が困難な場合に、予備日を利用して試験の実施日程を繰り下げることがある。試験日を変更する場合は、試験当日の朝に医学研究科ホームページ（https://www.med.kyoto-u.ac.jp/apply/entrance_examination/）にて告知するので、受験生は必ず確認すること。

(2) 基礎生物学、生物学の受験について

辞書等の持ち込みは許可しない。

◇**基礎生物学の概要**：細胞、動物個体の基本的な成り立ちを問うものであり、Essential Cell Biology (Garland Publishing Inc. New York & London) などの代表的な教科書に記載されている程度の基礎生物学の理解を求める。複数の設問から任意の 1 問を選択し、解答するものとする。

◇**生物学の概要**：生物学の専門的な知識と理解に関する設問、あるいは基本的な生物現象を題材としつつ基礎科学、融合領域の基本的理解と判断能力を問う設問。複数の設問から 2 問を選択。

医学研究科人間健康科学系専攻

総合生存学館を志望する者は、医学研究科人間健康科学系専攻修士課程一般選抜入試のみ受験可能である。

以下の情報は、令和8年度医学研究科人間健康科学系専攻修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で医学研究科人間健康科学系専攻を受験する者は以下の研究科・専攻別の出願書類を提出すること。

志望理由書	所定書式を京都大学医学研究科ホームページからダウンロードして必要事項を自筆で記入のこと。（黒のボールペンを使用すること。）
看護師免許証(写)又は 登録済証明書(写)	先端看護科学コース高度実践助産学系を志願する者で、出願時に看護師免許を有する者は看護師免許証(写)を提出すること。看護師免許取得見込の者は国家試験終了後、すみやかに厚生労働省発行の登録済証明書(写)を提出すること。提出しなかった場合は、合格を取り消すことがある。
外部試験 (「TOEFL iBT」、 「TOEIC Listening & Reading Test」の いずれか)の成績スコア	以下のいずれかのスコア票等の原本1通を同封すること。スコア票等は出願締切日の2年前以降に受験したものに限り有効とする。なお、出願時に原本が提出できない場合は、出願時にインターネットで確認できるスコアを印刷して提出のうえ、原本は試験前日（前日が土日祝の場合は、前開室日）の午後5時までに提出すること。原本が提出されない場合は、受験資格がないものとし、受験を認めない。 ただし、外部試験の実施状況により、選抜方法を変更する可能性がある。その場合はホームページにて告知する。 TOEFL iBT ：受験者用控えスコアレポート(Test Taker Score Report)の原本 《注》 ・ TOEFL-ITP のスコア票等は受け付けない。 ・ MyBEST スコアは採用せず、Test Date スコアを採用する。 TOEIC Listening & Reading Test：公式認定証(Official Score Certificate)の原本 《注》 ・ TOEIC 団体特別受験制度(IP, Institutional Program)、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge

	Test のスコア票等は受付けない。
--	--------------------

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025 年 7 月 10 日（木）～2025 年 7 月 16 日（水）午後 5 時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026 年 4 月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 入学者選抜方法

学力検査

日時		科目		試験場
2025 年 8 月 19 日（火） （予備日： 8 月 20 日（水））	9 時 00 分～11 時 00 分	専門（コース別）	筆答	京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻
	11 時 30 分～	面接		

- 注 1. 試験当日は、試験開始 30 分前までに集合場所（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）に到着していること。
- 注 2. 外国語（英語）は外部試験の成績スコアを換算して評価する。
一般選抜・・・外国語（英語）100 点、専門 100 点
- 注 3. 天候その他の事情により試験実施が困難な場合に、試験の実施について変更することがある。変更する場合は、ホームページ（https://www.med.kyoto-u.ac.jp/apply/exam/requirements_ghs/）にて告知するので受験生は必ず確認すること。
- 注 4. 外部試験の実施状況により、選抜方法を変更する可能性がある。その場合はホームページにて告知する。

薬学研究科薬科学専攻

総合生存学館を志望する者は、薬学研究科修士課程（薬科学専攻）のみ出願可能である。

以下の情報は、令和8年度薬学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

薬学研究科薬科学専攻については、二次出願書類（共通）のみで、二次出願書類（研究科別）は不要。

二次出願書類（共通）の郵送

受付期間：2025年7月16日（水）～2025年7月18日（金）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 入学者選抜方法及び試験科目・試験日程

< 第1次試験 >

（1）試験科目

※総合生存学館を志望する者には口頭試問は行わない。

外国語	英語（配点：150点）：TOEFL-ITPの成績を換算して評価する。（注）
専門科目	専門科目は、下記の各「系」から3問、計12問出題する。 物理化学・分析化学系3問、有機化学系3問、生物科学系3問、医療薬科学系3問 全12問の中から3問を受験時に選択すること。（配点：300点） 第1志望分野が指定する「系」から必ず1問は選択すること。 ※各分野が指定する「系」は薬学研究科募集要項 募集分野一覧を参照すること。
物理・分析化学系1：	基礎物理化学
物理・分析化学系2：	生物物理化学
物理・分析化学系3：	分析化学
有機化学系1：	有機化学
有機化学系2：	合成化学
有機化学系3：	天然物化学
生物科学系1：	生化学
生物科学系2：	分子生物学
生物科学系3：	細胞生物学

医療薬科学系 1：薬剤学・薬物動態学
医療薬科学系 2：薬理学・薬物治療学
医療薬科学系 3：微生物学・免疫学

注． TOEFL ITP®テストのスコアを 150 点満点に換算して評価する。

（２）試験日程

年月日	試験時間	試験科目	試験会場
2025 年 8 月 26 日（火）	9:00～11：30	外国語（英語） ※TOEFL-ITP	薬学研究科講堂等
	12:50～15：20	専門科目	薬学研究科講堂等

工学研究科

以下の情報は、令和8年度工学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

各専攻で必要な出願書類、学力検査日程、入学試験詳細等については、以下の各専攻のページを必ず確認すること。

総合生存学館を志望する者は、建築学専攻、原子核工学専攻、及び電気系（電気工学専攻・電子工学専攻）には出願できない。

社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻）	49
都市環境工学専攻	53
機械工学群（機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻）	57
材料工学専攻	61
創成化学専攻群（材料化学専攻、高分子化学専攻）	63
先端化学専攻群（物質エネルギー化学専攻、分子工学専攻、合成・生物化学専攻）	67
化学工学専攻	71

出願期間（各専攻共通）

P.9記載の（1）一次出願書類と、二次出願書類（共通）及び二次出願書類（研究科別）の受付期間が重複しているため、出願書類を同封して提出することができる。研究科別の提出物の詳細については各専攻のページで確認すること。

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025年5月28日（水）～6月11日（水）午後5時（必着）

各専攻が求める提出書類により提出期限が異なることがあるため、各専攻のページを確認すること。ただし、二次出願書類（共通）は上記期間内に提出すること。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

総合生存学館を志望する者は、京都大学工学部地球工学科を卒業、あるいは卒業見込みの者は「一般学力選考」を、京都大学工学部地球工学科以外の学科・学部・他大学を卒業、あるいは卒業見込みの者は「学科外別途選考Ⅰ型」を受験すること。

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

Ⅰ．専攻別志望区分

各専攻の研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

Ⅱ．学力検査日程

(1)一般学力選考

桂キャンパス C クラスターC1 棟 191・192・117 号室 他

月日	時 間 試験科目	時 間 試験科目
8 月 5 日（火）	10:00～11:30 数学・物理（力学）	13:00～15:00 専 門

(2)学科外別途選考Ⅰ型

桂キャンパス C クラスターC1 棟 171 号室 他

月日	時 間 試験科目	時 間 試験科目
8 月 5 日（火）	10:00～11:30 数学・物理（力学）	13:00～14:20 専 門

○学力検査に関する注意事項

- ・ 試験開始時刻 15 分前までに試験室前に集合すること。
- ・ 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・ 時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・ 試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴムに限る。

Ⅲ．入学試験詳細

一般学力選考、学科外別途選考Ⅰ型の入学試験の詳細は、以下の通りである。

(1)一般学力選考

- ①英語（200 点/1000 点）：TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。
- ②数学・物理（力学）（200 点/1000 点）：以下の(1)と(2)を受験すること。

科目名	出題範囲
(1)数学	微積分学、線形代数、ベクトル解析、複素関数、フーリエ変換、ラプラス変換、微分方程式、確率・統計
(2)物理（力学）	運動の法則、慣性系、回転座標系、振動、ポテンシャル、剛体の力学、

	ラグランジュの運動方程式
--	--------------

※注 科目(1)と(2)は日本語および英語で出題される。

③専門（600点/1000点）：以下の(1)～(5)から 3 科目 を選択すること。

ただし、13・14・15・31・37 を第一志望区分とする場合には、3 科目の 1 科目として、必ず(5)資源工学を選択しなければならない。

科目名	出題範囲
(1)構造力学	力のつりあい、断面力、影響線、応力とひずみ、材料の力学的性質、断面の性質、構造物の安定性および静定・不静定、静定構造、構造物の変形、柱の弾性座屈、不静定構造、弾性方程式法、仕事・エネルギーと仮想仕事、エネルギー原理
(2)水理学	流体運動の基礎、静水力学、完全流体の力学、水の波、粘性と乱れ、次元解析と相似律、管路の定常流、開水路の定常流
(3)土質力学	土の分類と物理的性質、土中の水理、圧密、土のせん断強さ、土の締固め、土圧、支持力、地盤内応力、斜面の安定、地盤改良、地盤の液化、地盤の振動特性
(4)計画理論	線形計画法、非線形計画法、動的計画法、ゲーム理論、ネットワーク手法、費用便益分析、重回帰モデル
(5)資源工学	岩石・岩盤の力学・水理、地質調査法と鉱床学、弾性波・電気・電磁探査の原理・データ解析と解釈

※注 科目(1)～(4)は日本語および英語で出題される。科目(5)は日本語で出題される。英語の問題冊子には科目(5)は含まれない。

(2)学科外別途選考 I 型

①英語（200点/1000点）：TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。

②数学・物理（力学）（300点/1000点）：出題範囲は一般学力選考と同じである。

③専門（500点/1000点）：一般学力選考と同じ(1)～(5)から 2 科目 を選択すること。

ただし、13・14・15・31・37 を第一志望区分とする場合には、2 科目の 1 科目として、必ず(5)資源工学を選択しなければならない。

IV. 出願要領

出願時に、「一般学力選考」あるいは「学科外別途選考 I 型」を選択して、「選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書」（様式－M1）によって届け出ること。希望する問題冊子の言語についても選択すること。出願後、受験希望の科目を変更することはできない。また下記の指示にしたがい「志望する指導教員調書」（様式－M3）に志望区分を記入すること。合格後の志望区分の変更は認めない。

(1)一般学力選考・学科外別途選考 I 型

社会基盤・都市社会系に含まれる志望区分（1～23・26～44）の中から、第 1 志望の志望区分を記入すること。ただし、それぞれの選考方法の上限定員のために、有資格者であっても合格できない場合がある。

(2) 事前コンタクトについて

事前コンタクトにおいては、希望指導教員が志願者の希望する学習・研究内容と、希望指導教員の研究活動との整合性の有無を判断する。

○別途提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

一般学力選考、学科外別途選考 I 型の別途提出書類は、以下の通りである。

総合生存学館に提出する書類に併せて、下記の書類を提出すること。

①選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書（様式－M1）

②入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M2）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

③志望する指導教員調書（様式－M3）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

注）総合生存学館を受験する学生は、第2志望以下は選択不可。

④TOEIC または IELTS の成績証明書

※TOEFL の場合、紙媒体の提出は不要。「英語の成績証明書・学力評価について」参照。

別途提出書類を下記提出先へ郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

・書類提出期限：2025 年 6 月 11 日（水）午後 5 時（必着）

※何らかの理由で、TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書を上記期限までに提出できない者は、2025 年 7 月 18 日（金）午後 4 時必着で以下の提出先に郵送しなければならない。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

○英語の成績証明書・学力評価について

- ・ TOEIC、IELTS、TOEFL の成績により英語の学力を評価する（ただし、2023 年 8 月 1 日以降に実施された試験に限る）。下記の指定されたいずれかの提出物を、期日までに郵送（書留便）すること。2025 年 7 月 18 日（金）午後 4 時以後は受け付けないので注意されたい。

<TOEIC>

- ・公式認定証（Official Score Certificate）の原本のほかにデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものも認める。ただし、いずれの場合も紙媒体として提出すること。TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

<IELTS>

- ・追加成績証明書（紙媒体）が期日までに総合生存学館教務掛に届くように、IELTS 公式テストセンターに発行・直送の申請手続きをとること。成績証明（原本）のコピーは受け付けない。IELTS（Academic Module）のみ受け付ける。Paper-based IELTS と Computer-delivered IELTS のいずれも認めるが、IELTS Online のスコアは認められないので留意すること。

<TOEFL>

- ・ Institutional Score Report が期日までに総合生存学館教務掛に届くように、TOEFL 実施機関（米国 Educational Testing Service）に送付依頼の手続きをとること。送付依頼手続きに必要な、総合生存学館の Institution Code は「B491」である。また、Institutional Score Report の総合生存学館教務掛への到着に関する問い合わせには回答しない。
- ・ TOEFL-iBT（internet-Based Test）のみ受け付ける。TOEFL iBT Paper Edition および TOEFL iBT Home Edition のスコアは認められないので留意すること。また、TOEFL-iBT テストの MyBest スコアも認めない。TOEFL-ITP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。
- ・ 後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消すことがある。
- ・ 成績証明書の返却希望の有無を「選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書」（様式－M1）の所定の欄に記入すること。

V. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には3種類の教育プログラムが準備されており、入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは以下の通りである。

- 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）
- 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）
- 修士課程教育プログラム

いずれの教育プログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。志望の調査は、出願時に「入学後の教育プログラム履修志望調書」（様式－M2）により実施する。

Ⅵ. 教育プログラムの内容について

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

都市環境工学専攻

総合生存学館を志望する者は、「一般学力選考」のみ受験可。

I. 志望区分

研究内容等の詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

一般学力選考

(筆記試験会場：桂キャンパス C クラスタ C1 棟 173 号室、他)

月 日	時 間 試験科目
8 月 5 日 (火)	10 : 00 ~ 11 : 30 数学 13 : 00 ~ 15 : 00 専門

○学力検査に関する注意事項

- ・ 試験開始時刻 10 分前までに試験室前に集合すること。
- ・ 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・ 試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り及び消しゴムに限る。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・ 時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・ 数学及び専門の受験にあたっては、関数電卓（プログラム機能を有さないもの）を各自が用意すること。

III. 入学試験詳細

一般学力選考の入学試験の詳細は、以下のとおりである。

①英語 (200 点/1000 点) : TOEFL、TOEIC または IELTS のスコアにより評価する。

②専門科目 (800 点/1000 点)

・ 学部成績 (200 点/1000 点)

・ 数学 (200 点/1000 点)

科目名	出題範囲
(1) 数学	線形代数、ベクトル解析、微分方程式、確率・統計

・ 専門 (400 点/1000 点) :

必須問題：環境物理学, 環境化学, 及び環境生物学に関する語句説明、6 題すべてに解答すること。

選択問題：以下の (1) ~ (3) より出題される計 6 題のうち、3 題を選択し解答すること。

科目名	出題範囲
(1) 環境物理学	熱や物質などの移動現象と環境装置設計、放射線の基礎と管理、騒音・振動の管理技術、大気汚染と地球温暖化
(2) 環境化学	物理化学の基礎、無機・有機化学の基礎、化学的環境指標、界面化学
(3) 環境生物学	微生物の代謝様式と増殖、生物学的水質指標、環境生態学の基礎

【注】数学及び専門の受験にあたっては関数電卓（プログラム機能を有さないもの）を各自が用意すること。

IV. 出願要領

出願時に、一般学力選考を選択して、「選考方法及び受験科目申請書」（様式-M1）によって届け出ること（詳細は、「Ⅶ. その他」の別途提出書類を参照）。また、都市環境工学専攻の各研究内容を参照し、志望区分調書（様式-M2）の欄に、第1志望を記入すること。合格後の志望区分の変更は認めない。

V. 入学後の教育プログラムの選択

(1) 履修できる教育プログラム

修士課程入学後には3種類の教育プログラムが準備されており、入試区分「都市環境工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）
人間安全保障工学分野
- 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）
都市環境工学専攻
- 修士課程教育プログラム
都市環境工学専攻

(2) 教育プログラムの選択

いずれの教育プログラムを履修するかについては、合格者決定後に希望調査を実施し、下記の要領によって決定する。

教育プログラム希望調査： 2026年1月中に実施

連携教育プログラム希望者口頭試問： 2026年2月中に実施

連携教育プログラム（融合工学コース及び高度工学コース）を希望するものについては、卒業論文の内容や入学後の研究計画等について口頭試問を実施する。修士課程教育プログラムの履修を希望するものには口頭試問は実施しない。

なお、連携教育プログラム希望者に対する口頭試問において連携教育プログラムの履修が不可となった場合は、修士課程教育プログラムを履修することとなる。

Ⅵ. 教育プログラムの内容について

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

Ⅶ. その他

○英語の学力評価について

- ・ TOEFLの総合生存学館が指定する Institution Code：B491により、**7月25日(金)の午後5時**までに総合生存学館に提出された受験者成績書（Test Taker Score Report）、TOEICの公式認定証（Official Score Certificate）またはIELTSの成績証明書（Test Report Form）（以下、成績証明書と略す）の成績（ただし、2023年8月1日以降に実施された試験に限る）により英語の学力を評価する。
- ・ 成績証明書を提出する場合は、**7月25日(金)の午後5時**まで必着で、総合生存学館教務掛に郵送しなければならない（下記の別途提出書類を参照）。この期限以後の提出は受け付けないので注意されたい。
- ・ TOEFLの場合はTOEFL-iBT(internet-Based Test)((Special) Home Editionを含む)及びTOEFL-

PBT(Paper-Based Test)、TOEIC の場合は日本または韓国で実施される TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

- TOEFL の成績証明書は、上記の受験者成績書のコピー(ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可)を提出すること。TOEFL のスコアにおいて MyBest™スコアは認めない。TOEIC の成績証明書は、公式認定書 (Official Score Certificate) 原本(紙媒体)そのもの、もしくはデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) (PDF 版)を印刷したものを提出すること。IELTS の成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。ただし、成績証明書の送付に遅延がある場合、ウェブサイトに表示される成績を印刷したものの提出を IELTS についても認める。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
- 成績証明書は試験当日に返却する。
- TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。

TOEFL: 国際教育交換協議会 (CIEE)・TOEFL 事業部

TEL: 0120-981-925、<http://www.cieej.or.jp/toefl/>

TOEIC: (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC 運営委員会

TEL: 06-6258-0224、<https://www.iibc-global.org/toeic.html>

IELTS: (公財)日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852

(公財)日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286

<http://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

○別途提出書類

下記の書類を期限内に総合生存学館教務掛に郵送しなければならない。

(様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。)

①選考方法及び受験科目申請書(様式-M1)

注)「選考方法」は必ず「一般学力選考」を選択すること。

②志望区分調書(様式-M2)

注)総合生存学館を受験する学生は第1志望のみ記載すること。第2希望以下の記載は認めない。

③TOEFL、TOEIC または IELTS の成績証明書

- 書類提出期限: **6月4日(水)午後5時(必着)**

TOEFL、TOEIC または IELTS の成績証明書のみ **7月25日(金)午後5時(必着)**

提出先: 〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

機械工学群（機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・航空宇宙工学専攻）

総合生存学館を志望する者は、「一般選考」のみ受験可。

I. 専攻別志望区分

(1) 教育プログラム

修士課程教育プログラム（2年）、および修士課程と博士後期課程を連携した前後期連携教育プログラム（5年）を設けている。選抜方法はそれぞれの教育プログラムにより異なる。前後期連携教育プログラムに関する詳細は工学研究科募集要項「修士課程入学後の教育プログラムについて」、および工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）を参照すること。

教育プログラム		選抜方法
修士課程		一般選考
前後期連携	高度工学コース	一般選考
	融合工学コース	

(2) 専攻別志望区分一覧

各専攻の研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

一般選考

8月3日（日）	9：30～11：30 数学	13：00～14：30 機械力学
8月4日（月）	9：00～12：30 専門科目	

※ 試験場は桂キャンパスCクラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。

III. 入学試験詳細

(1) 配点と選考方法

一般選考

科目	配点
英語	120点
数学	180点
機械力学	150点
専門科目	400点
合計	850点

専門基礎に関する筆記試験と英語に関する TOEFL テストの成績により決定する。

(2) その他

(a) 科目について

(i) 機械力学

工業力学、振動工学から出題する。

(ii) 専門科目

流体力学、熱力学（統計熱力学を含む）、材料力学、制御工学から出題する。

(iii) 英語

筆記試験は行わず、TOEFL テストの成績（120 点満点）で代用する。成績の提出方法その他については、下記の項目(c)およびⅣ. (1) を参照のこと。提出がない場合は英語の得点が 0 点となる。

受験資格により TOEFL を受験することが困難な場合は、下記Ⅳ (2) まで連絡すること。

(b) 学力検査に関する注意事項

(i) 試験会場や試験に関する注意などは、2025 年 7 月 28 日（月）～8 月 4 日（月）に桂キャンパス C クラスター C3 棟 1 階（b 棟）掲示板に掲示する。

(ii) 試験開始 20 分前までに試験室に入室すること。

(iii) 試験開始後 30 分以上遅刻した者の入室は認めない。

(iv) 試験開始後の途中退室は認めない（用便等、一時退室を特別に認める場合を除く）。

(v) 時計を持ち込んでよいが、計時機能のみを有するものに限る。

(vi) 定規、コンパス、辞書、電卓、およびこれらに類するものの使用は認めない。

(vii) 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。

(viii) その他の注意は試験室にて与える。

(c) TOEFL 成績の提出について

(i) 2023 年 8 月 3 日以降に受験した TOEFL-iBT の成績を有効とする。TOEFL-ITP および TOEFL-iBT Home Edition の成績は受け付けない。以下の項目(ii)および(iii)の手続きにより成績を提出すること。提出がない場合は英語の得点が 0 点となる。TOEFL の受験後、TOEFL 実施機関のホームページで成績を確認できるまでに 2 週間程度、Institutional Score Report が指定送付先に到着するまでに 6～8 週間程度かかるとされている。到着が遅れる場合もあるので、十分な時間的余裕を持って TOEFL を受験すること。なお、Test Date Scores のみを利用する。

(ii) 受験した TOEFL テストの Test Taker Score Report のコピーを提出すること（TOEFL 実施機関のウェブサイトの個人ページからダウンロードが可能な PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものでも良い）。

(iii) 受験した TOEFL テストの Institutional Score Report が 2025 年 7 月 28 日(月)までに総合生存学館教務掛に届くように、出願者の責任において TOEFL 実施機関に送付依頼の手続きを取ること。Institutional Score Report の送付依頼の際には、送付先のコード (Institution Code) として「B491」を指定すること（Institution Code が「B491」と指定されていれば、Department Code はどのように指定されていても良い）。送付依頼手続きは、TOEFL テスト申込時のほか、申込後や TOEFL テスト受験後にも可能であるので、TOEFL 実施機関に確認すること。なお、原則、Institutional Score Report の到着の有無についての問い合わせには、回答しない。

(iv) Institutional Score Report の京都大学の Institution Code「9501」への送付は認めない。既に TOEFL を受験し、Institutional Score Report を Institution Code「9501」に送付済みの場合でも、必ず「B491」に再度送付依頼の手続きをとること。

- (v) 原則として、総合生存学館に届いた Institutional Score Report に記載の成績を英語の点数とする。ただし、出願者が Institutional Score Report の送付依頼を正しく行ったにもかかわらず、(iii)に記載の期日までに総合生存学館に Institutional Score Report が届いていない場合には、提出された Test Taker Score Report のコピーに記載の成績を英語の点数とすることがある。
- (vi) 英語を母国語とする受験者は、「英語を母国語とする旨の宣誓書」(様式4)の提出により TOEFL 成績の提出を免除することがある。免除を受けようとする場合には、予め下記の IV. (2)に詳細を問い合わせること。
- (vii) 受験資格により TOEFL を受験することが困難な場合は、下記の IV. (2)まで連絡すること。
- <参考> TOEFL に関するホームページ：

<https://www.toefl-ibt.jp>

<https://www.ets.org/toefl.html>

IV. 出願要領

(1) 一般選考

出願書類の他に、以下の (a), (b)の書類を 2025 年 7 月 17 日 (木) 午後 5 時までに下記 (2) の提出先に郵送 (必着・書留便) すること (※2025 年 7 月 15 日 (火) 以前の日本の発信局消印がある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理する。)

また、留学生においては、以下の (a), (b)の書類に加えて、以下の (c)の書類も提出すること。ただし、以下の (c)の書類については 2025 年 5 月 28 日 (水) ~2025 年 6 月 11 日 (水) 午後 5 時まで (願書の提出期間と同じ) に下記 (2) の提出先に郵送 (必着・書留便) すること (※2025 年 6 月 9 日 (月) 以前の日本の発信局消印がある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理する。)

※様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。

(a) TOEFL 成績に関する提出書類

項目Ⅲ. (2) (c)に記載の TOEFL テストの Test Taker Score Report のコピー

(なお、Institutional Score Report については、項目Ⅲ. (2) (c)に指定した方法で総合生存学館教務掛への送付手続きを別途済ませておくこと)

(b) 志望研究区分申告票 (様式1)

(i) 合格者の研究室配属は、「志望研究区分申告票」により申告した志望区分番号に基づいて行う。

(ii) 配属を志望する研究区分番号と氏名を記入し、押印すること。受験票が届く前に提出する場合は、受験番号欄には記入する必要はない。

(iii) 「Ⅶ. 教員・研究内容説明書」を参照して、第1志望のみ記入すること。

(c) 志望する指導教員調書 (様式6：留学生のみ要提出)

志望する指導予定教員の確認印 (署名) を得たものを提出すること。(コピー可)

事前コンタクトにおいては、指導予定教員が志願者の希望する学習・研究内容と、指導予定教員の研究活動との整合性の有無を判断する。

(2) 提出先・問合せ先

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

V. 入学後の教育プログラムの選択

入試区分「機械工学群」の入試に合格することにより、入学後に履修できる教育プログラムは下記のとおりである。

前後期連携教育プログラム

融合工学コース（a. 応用力学分野、b. 物質機能・変換科学分野、c. 生命・医工融合分野、d. 融合光・電子科学創成分野、f. デザイン学分野、g. 総合医療工学分野）
※現在、「e. 人間安全保障工学分野」を選択できる志望区分は機械工学群にはありません。

前後期連携教育プログラム

高度工学コース（機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻）

修士課程教育プログラム

機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻

各教育プログラムの詳細及び融合工学コースの各分野の内容については、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）、および下記項目 VI を参照すること。一般選考は、合格者のみ研究室配属確定後、2025 年 10 月 27 日（月）までに IV. (2) 記載の提出先へ「教育プログラム志望調書」（様式 5）を提出すること。前後期連携教育プログラムを志望する場合は志望区分の予定教員の内諾が必要である。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、上記 IV. (2) まで問い合わせること。

VI. 教育プログラムの内容について（前後期連携教育プログラム高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

VII. 教員・研究内容説明書

各専攻の教員・研究内容説明書については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

材料工学専攻

総合生存学館を志望する者は、「一般選考」のみ受験可。

なお、材料工学専攻においては、合格発表後に行う別途志望調査（後述）の結果により、事前に AAO でコンタクトを取った教員ではない研究室に配属される可能性がある。

I. 志望区分

研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

一般選考

8月4日（月）	9：30～11：30 材料基礎学A	13：00～16：00 材料基礎学B
8月5日（火）	9：30～11：00 工業数学	11：00～ 面接

※試験場は吉田キャンパスである。詳細は受験票送付時に通知する。

III. 入学試験詳細

一般選考

配点

〔英語〕配点 100 点

筆記試験は行わず、TOEIC(TOEIC Listening & Reading Tests；以下 TOEIC L&R)の成績で代用する(100 点満点に換算する)。学力検査日から過去 2 年以内に受験した TOEIC「公開テスト」の成績表を提出すること。提出方法については下記項目Ⅳを参照。TOEIC の「IP (Institutional Program) テスト」ならびに「iBT Special Home Edition」の成績は受け付けない。提出がない場合は英語の得点が 0 点となる。本専攻では、所属する大学院学生が TOEIC 730 点以上（レベル B）の英語力を有するべきと考えている。提出された TOEIC テストの点数は、このことを考慮して 100 点満点に換算する。

〔工業数学〕配点 100 点

線形代数、微分積分、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、偏微分方程式、ベクトル解析など。

〔材料基礎学 A〕配点 120 点

〔材料基礎学 B〕配点 180 点

両科目とも、次の出題範囲から出題し、全問解答を要する。

- ・固体の原子および電子構造（化学結合、電子構造、結晶構造、X線解析など）
- ・熱力学・統計熱力学（相平衡、化学平衡、状態図など）
- ・材料組織（材料の微細構造、格子欠陥、拡散、相変態など）
- ・構造材料基礎（固体の機械的性質、弾性、塑性など）
- ・機能材料基礎（固体の電気的性質、磁気的性質など）
- ・材料プロセス基礎（金属材料、半導体材料、複合材料など）

〔面接〕 面接控室において、進路希望調査票を提出のうえ、指示に従うこと。

面接に欠席した場合、受験者の不利益になることがある。

IV. 出願要領

出願書類と志望区分

当専攻の志望区分は上記 I のとおりであるが、当専攻では受験生に対し別途志望を調査する。志望区分と研究室および担当教員の関係は、下記の教員・研究内容説明書および材料工学専攻のウェブサイトを確認すること。<https://www.ms.t.kyoto-u.ac.jp/ja>

TOEIC 成績の提出

条件を満たす TOEIC L&R テストの成績表を 2025 年 7 月 25 日（金）午後 5 時必着で下記の「問い合わせ先」へ提出すること。郵送は、封筒に「総合生存学館一貫制博士課程入試関係書類」と朱筆し、簡易書留とすること。成績表は原本を提出すること（コピーは不可）。ただし、TOEIC から紙媒体の成績証明書が発行されない場合はデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものの提出を認める。提出された成績表は試験当日に、本人に返却する。それ以前に返却を希望する場合は下記の連絡先に連絡すること。

○ 問い合わせ先（提出先）

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1
京都大学大学院総合生存学館教務掛
TEL (075)762-2002, 2010

V. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されている。入試区分「材料工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記のとおりである。

- (a) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (b) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（材料工学専攻）
- (c) 修士課程教育プログラム 材料工学専攻

いずれのプログラムを履修するかは、合格決定後、入学までの適切な時期に志望を調査したうえで、その志望と入試成績に応じて審査の後に決定される。また、教育プログラムの内容については、工学研究科学生募集要項 10 ページ以降記載の「X. 修士課程入学後の教育プログラムについて」及び次項の「教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

VI. 教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

VII. その他

携行品

受験票、筆記用具（電卓の持込は不可）

教員・研究内容説明書

教員・研究内容説明書については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

創成化学専攻群（材料化学専攻，高分子化学専攻）

I. 専攻別志望区分

研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

(1) 試験日時※・試験科目

8月6日（水）	9：30～11：30 物理化学	12：45～14：45 有機化学	15：30～17：00 専門科目（選択）
8月7日（木）	9：00～ 口頭試問		

※試験日時は状況により変更される場合があります。

(2) 試験場

試験は桂キャンパス A クラスターで行う。詳細は後日通知する。

III. 入学試験詳細

〔英語〕配点 200 点

TOEIC の成績で評価する。

TOEIC：TOEIC Listening & Reading Test の成績を 200 点満点に換算する。このため学力検査日（8月6日）から過去2年以内に受験した TOEIC「公開テスト」の成績表を提出すること。提出方法については下記項目を参照。

TOEIC の「IP (Institutional Program) テスト」の成績は受け付けない。条件を満たす TOEIC「公開テスト」の公式認定証 (Official Score Certificate) の原本、もしくは TOEIC のデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) を印刷したものを下記のどちらかで提出すること。提出がない場合及び忘れた場合は、英語の得点は 0 点となる。

1) 7月31日（木）の午前9時から午後5時の間に、総合生存学館教務掛へ提出する。

2) 第1番目の試験科目（物理化学）の直前に試験室で提出する。

成績表は面接時に返却する。

TOEIC「公開テスト」は、年10回程度実施されている。詳細については、以下を参照のこと。なお、TOEIC「公開テスト」後にその認定証が発行されるまでに時間を要するので、試験日まで十分に余裕をもって TOEIC「公開テスト」を受験しておくこと。

◆TOEIC: (財) 国際ビジネスコミュニケーション協会

Tel: 03-5521-6033, <http://www.iibc-global.org/toeic.html>

〔物理化学〕配点 250 点

すべて必須問題。高分子物性を含む。

〔有機化学〕配点 250 点

すべて必須問題。高分子合成を含む。

〔専門科目〕配点 200 点

無機化学（1題）・分析化学（1題）・生化学（1題）の3題中から計2題選択。

試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。

(1) 学科試験

試験当日は開始 20 分前までに指定された試験室前に集合すること。試験開始時刻から 30 分経過した後は入室できない。また、試験開始後、当該科目の試験時間中は退室できない。なお、物理化学、専門科目の試験時には、受験者全員に関数電卓を貸し出す。携帯電話、スマートウォッチ等の電子機器類は、電源を切り、カバンにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なすので注意すること。

(2) 口頭試問

創成化学専攻群の受験生全員に対して第 1 志望の専攻で口頭試問を行う。8 月 7 日（木）午前 8 時 45 分までに受験票交付時に指示する面接控室に集合すること。面接控室で「連絡先届」用紙を配付するので、口頭試問後の連絡先を明記して控室の担当教員に提出すること。同届を提出しなかった場合、受験者の不利益になることがある。

(3) 有資格者及び合格者決定法

筆記試験及び口頭試問の結果に基づいて合否判定を行う。

IV. 出願要領

志望区分の申請

合格者の研究室配属は、「志望区分申告票」（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）により申告した志望区分番号に基づいて行う。下の記入方法(1)～(3)に留意して「志望区分申告票」に記入し、6 月 13 日（金）午後 5 時までに下記の提出先に郵送（必着・書留便（簡易））すること。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

記入方法

- (1) 「I.専攻別志望区分」を参照して、「志望区分申告票」の志望区分番号欄に志望順位 1 位のみを記入すること。なお、「I.専攻別志望区分」に記載の各専攻ホームページは、さらに各講座・分野（研究室）のホームページにリンクされており、これから研究内容の詳細を参照できる。
- (2) 「志望区分申告票」には氏名を記入し、押印すること。
- (3) 区分番号に空欄などの不備がないように注意すること。不備のある場合には、受験者の不利益になることがある。

V. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 6 種類の教育プログラムが準備されている。入試区分「創成化学専攻群」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは、合格した専攻・分野に応じて決まり、下記の通りである。

- (1) 修士課程教育プログラム
- (2) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（材料化学専攻）
- (3) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（高分子化学専攻）
- (4) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (5) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（生命・医工融合分野）
- (6) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（総合医療工学分野）

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。合格決定後の適切な時期に志望を調査するので、合格決定後の指示に従うこと。

詳細については、「Ⅰ．専攻別志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、工学研究科 HP (<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>) 及び、次項の「Ⅵ．教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

Ⅵ．教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

先端化学専攻群

(物質エネルギー化学専攻, 分子工学専攻, 合成・生物化学専攻)

I. 専攻別志望区分

各専攻の研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

(1) 試験日時・試験科目

8月6日(水)	10:00～11:30 化学Ⅰ	13:00～16:00 化学Ⅱ
8月7日(木)	9:00～ 口頭試験※ ※専攻により口頭試験を実施しない場合がある。後日通知の詳細を参照すること。	

(2) 試験場

試験は桂キャンパス A クラスタで行う。詳細は後日通知する。

III. 入学試験詳細

[英語] 配点 200 点

筆記試験は行わず、TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価。成績の提出方法その他については、下記の項目 (2) **英語の成績証明書・学力評価について**を参照のこと。

[化学Ⅰ] 配点 300 点

融合化学*・分析化学・生化学・化学工学から2問選択(各150点)。

[化学Ⅱ] 配点 550 点

物理化学(200点)、有機化学(200点)、無機化学(150点)、すべて必須問題。

*融合化学は、有機化学・物理化学・無機化学の範囲からの出題とする。

(1) 学科試験

試験当日は開始20分前までに指定された試験室前に集合すること。試験開始時刻から30分経過した後は入室できない。また、試験開始後、当該科目の試験時間中は退出できない。なお、化学Ⅰ・化学Ⅱの試験時には、受験者全員に関数電卓を貸し出す。携帯電話、スマートウォッチ等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、カバンにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なしますので注意すること。

(2) 英語の成績証明書・学力評価について

- ・TOEFL、TOEIC、またはIELTSの成績により評価する。
- ・TOEFLの受験者成績証明書(「Test Taker Score Report」)のETSから紙媒体で送付された原本、IELTSの成績証明書(Test Report Form)原本またはTOEICの公式認定証(Official Score Certificate)(以下、成績証明書と略す)の成績により英語の学力を評価する。ただし、学力考査日(8月6日)から過去2年以内に受験した成績証明書を提出すること。
- ・TOEFLの場合はTOEFL-iBT(internet-Based Test)、TOEFL iBT Home Editionを受け付ける。TOEFLのMy Best Scoreは受け付けない。

- ・ TOEIC の場合は TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。なお、公式認定証（Official Score Certificate）の原本、もしくは TOEIC のデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものを提出すること。
- ・ 成績証明書は、試験集合時刻に試験室で提出する。提出がない場合及び忘れた場合は、英語の得点は 0 点になる。
- ・ 成績証明書は、後日 1 年の年限で、希望する者には返却する。
- ・ TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の受験から、その成績表が手元に届くまでに 1 ヶ月近くを要するので、試験日まで十分に余裕をもって受験しておくこと。

各試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。

TOEFL : ETS Japan 合同会社・TOEFL®テスト日本事務局

TEL: 03-6204-9830、<https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC : (一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会

TEL: 03-5521-6033、<http://www.iibc-global.org/toEIC.html>

IELTS : (公財) 日本英語検定協会

IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852

IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286 <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

(3) 口頭試問

先端化学専攻群の受験生全員に対して口頭試問を行う。8 月 7 日（木）午前 8 時 45 分までに受験票交付時に指示する口頭試問控室に集合すること。口頭試問控室で「連絡先届」用紙を配付するので、口頭試問後の連絡先を明記して控室の担当教員に提出すること。同届を提出しなかった場合、受験者の不利益になることがある。

IV. 出願要領

志望区分の申請

合格者の研究室配属は、「志望区分申告票」（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）により申告した志望区分番号に基づいて行う。下の記入方法(1)～(3)に留意して「志望区分申告票」に記入し、6 月 13 日（金）午後 5 時までに下記の提出先に郵送（必着・書留便（簡易））すること。

提出先

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

記入方法

- (1) 「I.専攻別志望区分」を参照して、「志望区分申告票」の志望区分番号欄に志望順位 1 位のみを記入すること。なお、「I.専攻別志望区分」に記載の各専攻ホームページは、さらに各講座・分野（研究室）のホームページにリンクされており、これから研究内容の詳細を参照できる。
- (2) 「志望区分申告票」には氏名を記入し、押印すること。
- (3) 区分番号に空欄などの不備がないように注意すること。不備のある場合には、受験者の不利益になることがある。

V. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 9 種類の教育プログラムが準備されている。入試区分「先端化学専攻群」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- (1) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (2) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（生命・医工融合分野）
- (3) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（総合医療工学分野）
- (4) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（物質エネルギー化学専攻）
- (5) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（分子工学専攻）
- (6) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（合成・生物化学専攻）
- (7) 修士課程教育プログラム 物質エネルギー化学専攻
- (8) 修士課程教育プログラム 分子工学専攻
- (9) 修士課程教育プログラム 合成・生物化学専攻

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。合格決定後の適切な時期に志望を調査するので、合格決定後の指示に従うこと。

詳細については、「Ⅰ．専攻別志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、工学研究科 HP（<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）及び、次項の「Ⅵ．教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

Ⅵ．教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

化学工学専攻

I. 志望区分

研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

8月6日（水）	9：00 ～11：30 専門科目1	13：00 ～15：30 専門科目2	16：00 ～18：00 面接
---------	-------------------------	--------------------------	-----------------------

III. 入学試験詳細

(1) 科目、出題範囲

[英語] 配点 200 点

TOEIC Listening & Reading Testの成績を200点満点に換算する。このため学力検査日（8月6日）から過去2年以内に受験したTOEIC「公開テスト」の成績表を提出すること。提出方法については下記項目を参照。

TOEICの「IP（Institutional Program）テスト」の成績は受け付けない。条件を満たすTOEIC「公開テスト」の公式認定証（Official Score Certificate）の原本、もしくはTOEICのデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものを提出すること。提出がない場合及び忘れた場合は、英語の該当部分の得点は0点となる。

【提出方法】

最初の試験科目（専門科目1）の直前に試験室にて提出すること。成績表は面接時に返却する。

TOEIC公開テストは、年10回程度実施されている。詳細については以下を参照のこと。なお、TOEICテスト試験日からテスト結果が手元に届くまで1ヶ月近くを要するので、試験日まで十分に余裕をもってTOEICテストを受験しておくこと。

◆TOEIC：（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会・IIBC試験運営センター

Tel: 03-5521-6033, <https://www.iibc-global.org/toeic.html>

[専門科目1] 配点 400 点

移動現象（2題）、分離工学（2題）、粒子工学、プロセス制御（以上6題から4題選択）。ただし、移動現象の出題範囲は、流動、伝熱、拡散とし、分離工学の出題範囲は、ガス吸収、蒸留、吸着、乾燥、抽出とする。

[専門科目2] 配点 400 点

化学工学量論（熱力学含む）、基礎物理化学、基礎有機化学、化学工学数学、反応工学（2題）、プロセスシステム工学（以上7題から4題選択）。ただし、化学工学数学の出題範囲は、微分積分学、線形代数学、常微分方程式、ベクトル解析、複素解析、偏微分方程式とする。

専門科目1、専門科目2の試験は日本語による出題で、試験時に電卓を貸与する

(2) 有資格者及び合格者決定法

総得点500点以上を有資格者とする。ただし、問題の難易度に応じて有資格判定の基準点を調整することがある。有資格者の成績上位者から合格者を決定する。

IV. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には4種類の教育プログラムが準備されている。本専攻の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- (a) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（応用力学分野）
- (b) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (c) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（化学工学専攻）
- (d) 修士課程教育プログラム 化学工学専攻

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。合格決定後の適切な時期に志望を調査するので、合格決定後の指示に従うこと。

詳細については、「Ⅰ. 志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、ホームページ（<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）及び、次項の「Ⅴ. 教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

なお、入学後の研究室配属の希望調査も、教育プログラムの志望調査とあわせて、合格決定後におこなう。

Ⅴ. 教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

Ⅵ. その他

集合時間および集合場所について

試験当日は、試験開始 20 分前までに化学工学専攻試験場前に集合すること。試験場については後日通知する。

入退室について

試験開始時間から 30 分以降は入室できない。また、試験開始後、当該科目の試験時間中は退室できない。

面接について

化学工学専攻の受験者全員について面接を行うので、受験者は8月6日（水）専門科目2の終了後、15:50 までに面接控室（後日通知する）に集合すること。

電卓の貸出しについて

化学工学専攻の試験中に使用する電卓を、機能確認のために事前に貸出する。希望者は下記の時間帯に桂キャンパスAクラスター事務区教務掛に取りに来ること。

貸出時間帯 7月17日（木）10:00～16:00

＊注意：電卓の機種・機能の確認後は、速やかに上記時間内に同事務室に返却のこと。

携帯電話について

携帯電話は必ず電源を切り、かばん等に入れ所定の場所に置くこと。試験中、携帯電話を時計として使用することも禁止する。試験中に携帯電話等の通信機器の所持が判明した場合は、不正行為と見なされる場合がある。なお、時計（通信機能のないものに限る）については各自で用意すること。

農学研究科

総合生存学館を志望する者は、農学研究科修士課程一般入試のみ受験可能である。

以下の情報は、令和8年度農学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.9 記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で農学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

英語力検定試験成績表 の <u>原本</u>	出願開始日から2年前（2023年7月7日）以降に受験したTOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）（以下、IELTS）またはTOEIC L&R（※対象専攻のみ）のスコアの<u>原本</u>を提出してください。 TOEFL iBTスコアが55点以上、IELTSスコアが4.5以上、TOEIC L&Rが650点以上のうち、少なくとも1つの要件を満たす場合に出願が可能です。 （※）TOEIC L&Rは森林科学専攻、応用生命科学専攻、応用生物科学専攻及び地域環境科学専攻の出願者が対象です。農学専攻、生物資源経済学専攻及び食品生物科学専攻の出願者はTOEIC L&Rの提出は認められません。 スコア提出の詳細は、下記の「TOEFL等スコア（TOEFL iBT、IELTS、TOEIC L&R）の提出に関する注意事項」を参照してください。 スコア原本は受験票送付時に返却します。
卒業論文概要書又は実験、実習、演習概要書	A4横書き1,000字以内で作成し、志望専攻・専門種目・氏名を付記してください。（様式自由）

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025年7月7日（月）～2025年7月11日（金）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

TOEFL 等スコア（TOEFL iBT、IELTS、TOEIC L&R）の提出に関する注意事項

- 各自で TOEFL iBT、IELTS または TOEIC L&R（※対象専攻のみ。詳細は「1. 出願書類（研究科別）」を参照）の申し込み手続きを行い、受験してください。
TOEFL iBT、IELTS 及び TOEIC L&R テストの受験に必要な費用は各自で負担してください。
- 出願時には、TOEFL iBT は Test Taker Score Report の原本を、IELTS は公式成績証明書の原本を、TOEIC L&R は個人用公式認定書の原本又はデジタル公式認定証を各自で印刷したものを出願時に提出してください。
スコアの公開が通常より数週間遅れる場合がありますので、余裕をもって受験してください。
なお、原本が出願時に間に合わない場合は、その旨を明記した書面及び WEB 上のスコア確認ページのコピーを提出してください。原本が交付され次第、原本とその返送用封筒（長形 3 号の封筒に 460 円分の切手を貼り、返送先住所を記載したもの）を 2025 年 8 月 5 日（火）必着で持参又は郵送「簡易書留」により提出してください（持参の場合返送用封筒は不要です。）。2025 年 8 月 5 日（火）までに原本が間に合わない場合は、同日までに

総合生存学館教務掛へ連絡してください。

3. 提出したスコアの原本は受験票とともに7月下旬に受験者に返送します。
4. TOEFL iBT、IELTS 及び TOEIC L&R をあわせて複数回受験している場合、そのうちいずれか1つのスコアを提出してください。なお、TOEFL iBT のスコアについては、MyBest スコアを活用せず、Test Date スコアを活用します。
5. 出願開始日から2年前（2025年8月実施の入試の場合は、2023年7月7日）以降に受験した TOEFL iBT、IELTS 及び TOEIC L&R テストのスコアに限り提出が可能です。団体試験用の TOEFL ITP のスコアやカレッジ TOEIC 等の団体特別受験制度（IP テスト）は受け付けませんので注意してください。
6. TOEFL iBT 等のスコアについて、不正が判明した場合は失格とし、入学後であっても、過去に遡って合格を取り消します。

2. 学力検査日程

月日	時間	試験科目	場所
8月20日（水）	10:30～12:00	専門科目(1)	京都大学農学研究科 京都市左京区 北白川追分町 （市バス「京大農学部前」下車）
	13:30～15:00	専門科目(2)	
8月21日（木）	10:00～17:00	面接※ ¹	
8月22日（金）	予備日※ ²		

※1 面接時間・場所等の詳細については、総合生存学館教務掛からお知らせします。

※2 台風接近時等、試験が予定通り実施できない場合、予備日に試験を実施します。

2026年度京都大学大学院農学研究科修士課程入学試験
専 門 科 目 出 題 説 明

専攻	出 題 説 明										
農 学	専門科目(1)は、作物学、育種学、蔬菜花卉園芸学、果樹園芸学、雑草学、栽培システム学、品質設計開発学、品質評価学、植物生産管理学、細胞生物学から各1問、基礎的な内容を出題する。そのうち4問を選択し、解答する。“細胞生物学”に関する問題では、『Essential細胞生物学』に準ずるような、広く使用されている教科書の中で扱われている事項全般に対する基礎学力を問う。 専門科目(2)は、農学分野の学習・研究を行うに当たり必要となる学術英語に関する専門知識を問う共通問題および各専門種目（作物学、育種学、蔬菜花卉園芸学、果樹園芸学、雑草学、栽培システム学、品質設計開発学、品質評価学、植物生産管理学）から出題する。“学術英語に関する専門知識”とは、農学分野の学術論文や総説の読解力のことである。 ※専門種目については第1志望の専門種目についてのみ解答すること。										
森 林 科 学	専門科目(1)は、森林科学一般から出題する。 ※森林科学一般の問題は、森林科学の基礎的内容に関する共通問題である。 専門科目(2)は、各専門種目（森林・人間関係学、熱帯林環境学、森林生態学、森林利用学、森林生物学、環境デザイン学、山地保全学、森林水文学、生物材料設計学、林産加工学、生物繊維学、樹木細胞学、複合材料化学、生物材料化学、森林生化学、森林情報学、森林育成学、材料生物学、生物機能材料学、循環材料創成学、居住圏環境共生学、木質構造科学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。										
応 用 生 命 科 学	専門科目(1)は、「応用生命科学」分野の学習・研究を行うに当たり必要となる基礎知識について、生化学および有機化学に関する基礎的問題を出題する（全問解答のこと）。 “基礎的問題”とは、『ヴォート基礎生化学』や『マクマリー有機化学－生体反応へのアプローチ』に準ずるような、全国的に広く使用されている教科書の中で扱われている事項全般に関する基礎的学力を問うものです。 専門科目(2)は、「物理化学」、「有機化学」、「生化学」、「応用微生物学」、「植物科学」の5領域から出題する（1領域を選択し解答する）。 各領域の出題範囲は次表の通りです。 <table border="1"> <tr> <td>物 理 化 学 領 域</td><td>①酸塩基反応 ②酸化還元反応 ③基礎化学熱力学 ④反応速度（酵素反応を含む）⑤生体高分子の立体構造</td></tr> <tr> <td>有 機 化 学 領 域</td><td>①反応機構 ②有機合成 ③有機化合物の構造解析 ④生理活性物質の化学と作用</td></tr> <tr> <td>生 化 学 領 域</td><td>① 生体分子（核酸、アミノ酸、糖、脂質） ②タンパク質の構造と機能 ③酵素反応 ④代謝（グルコース、グリコーゲン、クエン酸サイクル、電子伝達と酸化リン酸化、脂質）⑤生体膜と膜輸送 ⑥DNAの複製、転写と翻訳 ⑦細胞の情報伝達</td></tr> <tr> <td>応 用 微 生 物 学 領 域</td><td>①分類・細胞構造 ②生理・生態 ③代謝・酵素 ④遺伝・ゲノム情報発現 ⑤発酵生産・バイオコンバージョン</td></tr> <tr> <td>植 物 科 学 領 域</td><td>①植物細胞の構造 ②植物の無機栄養元素 ③光合成 ④特化代謝（二次代謝）⑤植物ホルモン</td></tr> </table>	物 理 化 学 領 域	①酸塩基反応 ②酸化還元反応 ③基礎化学熱力学 ④反応速度（酵素反応を含む）⑤生体高分子の立体構造	有 機 化 学 領 域	①反応機構 ②有機合成 ③有機化合物の構造解析 ④生理活性物質の化学と作用	生 化 学 領 域	① 生体分子（核酸、アミノ酸、糖、脂質） ②タンパク質の構造と機能 ③酵素反応 ④代謝（グルコース、グリコーゲン、クエン酸サイクル、電子伝達と酸化リン酸化、脂質）⑤生体膜と膜輸送 ⑥DNAの複製、転写と翻訳 ⑦細胞の情報伝達	応 用 微 生 物 学 領 域	①分類・細胞構造 ②生理・生態 ③代謝・酵素 ④遺伝・ゲノム情報発現 ⑤発酵生産・バイオコンバージョン	植 物 科 学 領 域	①植物細胞の構造 ②植物の無機栄養元素 ③光合成 ④特化代謝（二次代謝）⑤植物ホルモン
物 理 化 学 領 域	①酸塩基反応 ②酸化還元反応 ③基礎化学熱力学 ④反応速度（酵素反応を含む）⑤生体高分子の立体構造										
有 機 化 学 領 域	①反応機構 ②有機合成 ③有機化合物の構造解析 ④生理活性物質の化学と作用										
生 化 学 領 域	① 生体分子（核酸、アミノ酸、糖、脂質） ②タンパク質の構造と機能 ③酵素反応 ④代謝（グルコース、グリコーゲン、クエン酸サイクル、電子伝達と酸化リン酸化、脂質）⑤生体膜と膜輸送 ⑥DNAの複製、転写と翻訳 ⑦細胞の情報伝達										
応 用 微 生 物 学 領 域	①分類・細胞構造 ②生理・生態 ③代謝・酵素 ④遺伝・ゲノム情報発現 ⑤発酵生産・バイオコンバージョン										
植 物 科 学 領 域	①植物細胞の構造 ②植物の無機栄養元素 ③光合成 ④特化代謝（二次代謝）⑤植物ホルモン										

専攻	出 題 説 明
応用生物科学	専門科目(1)は、応用生物科学分野の学習・研究を行うに当たり必要となる知識について、生物学の基礎に関する問題を出題する（全問解答のこと）。 “生物学の基礎”とは、『エッセンシャルキャンベル生物学』に準ずるような、広く使用されている教科書の中で扱われている事項全般に関する基礎的内容である。 専門科目(2)は、各専門種目（植物遺伝学、栽培植物起原学、植物病理学、昆虫生態学、昆虫生理学、動物遺伝育種学、生殖生物学、動物栄養科学、生体機構学、畜産資源学、海洋生物環境学、海洋生物増殖学、海洋分子微生物学、海洋環境微生物学、海洋生物生産利用学、海洋生物機能学、里海生態保全学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。
地域環境科学	専門科目(1)は、地域環境科学一般から出題する。 専門科目(2)は、各専門種目（比較農業論、熱帯農業生態学、土壌学、微生物環境制御学、生態情報開発学、施設機能工学、水資源利用工学、水環境工学、農村計画学、放射線管理学、農業システム工学、フィールドロボティクス、生物センシング工学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。
生物資源経済学	専門科目(1)は、生物資源経済学一般から出題する。 ※生物資源経済学一般の問題は、生物資源経済学に関わる小論文形式および基礎概念に関する共通問題である。 専門科目(2)は、各専門種目（農業食料組織経営学、経営情報会計学、地域環境経済学、食料・環境政策学、森林経済政策学、国際農村発展論、比較農史学、農学原論）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。

専攻	出 題 説 明		
食 品 生 物 科 学	専門科目(1) (100点満点)は、「生化学」、「有機化学」、「物理化学」の3領域に関連する問題を出題する。各領域から2問題の計6問題のすべてを解答すること。 専門科目(2) (100点満点)は、「生物有機化学」、「食品生物工学」、「生化学・酵素科学」、「応用微生物学」、「栄養科学」、「食品科学」の6領域から出題する。各領域から1問題の計6問題の中から2問題を選択して解答すること。これとは別に、応用微生物学、栄養科学、食品科学領域から英文和訳問題を含む英語関連の2問題の全てを解答すること。 各領域の出題範囲は次表のとおりである。		
	専門科目(1)	生化学	タンパク質、糖質、脂質の構造 解糖系・クエン酸回路・電子伝達系 遺伝子とタンパク質の生合成
		有機化学	有機化合物の構造と化学結合、立体化学 酸・塩基反応と解離定数、酸化と還元 基本的な有機化学反応(付加、脱離、置換)
		物理化学	気体と溶液の性質、熱力学、相平衡、化学平衡、電解質溶液と電池、反応速度論、光化学
	専門科目(2)	生物有機化学	有機化学反応全般ならびに反応機構 機器分析による構造決定
		食品生物工学	物質収支、水分と乾燥、伝熱・殺菌、物質移動、レオロジー、界面化学、バイオリアクター
		生化学・酵素科学	生体分子の構造と機能 代謝と生体エネルギー論
		応用微生物学	微生物の分類・形態・増殖 代謝と発酵、遺伝子と情報伝達
		栄養科学	栄養素の消化・吸収、エネルギー代謝 栄養素の代謝
		食品科学	食品成分の化学と機能 食品の成分変化と品質
	出題等の詳細については、食品生物科学専攻HP (http://www.food.kais.kyoto-u.ac.jp/)の大学院入試情報をご覧ください。		

人間・環境学研究科

総合生存学館を志望する者は、人間・環境学研究科第1回修士課程学生募集のみ受験可能である。

以下の情報は、令和8年度第1回人間・環境学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で人間・環境学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

TOEFL/TOEIC スコアの写し	外国語試験を B 方式とする講座の教員を志望する者は、対象となる TOEFL もしくは TOEIC のスコア（令和 5 年 4 月 1 日以降の受験有効）を提出すること。TOEIC を受験した者は「TOEIC デジタル公式認定証」を印刷したものを、TOEFL を受験した者は「Test Taker Score Report」の<u>原紙</u>（インターネット経由で出力したもの及びコピー不可）を提出すること。 ※提出されたスコア原紙の返却には応じない。 ※出願時に TOEFL スコア原紙の提出が間に合わない場合、その旨を記載した理由書及び Web 上で確認できるスコアの PDF ファイルを印刷したものを提出し、試験日から1週間前の17時までに原紙を総合生存学館教務掛宛に提出すること。締切までに原紙が提出されない場合は受験を認めない。また、より良い点数のスコアレポートとの差替えも認めない。
-----------------------	---

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025 年 7 月 11 日（金）～2025 年 7 月 16 日（水）午後 5 時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターバックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026 年 4 月期）出願書類在中」と朱書（レターバックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 選抜試験実施方法

選抜試験は外国語試験および専門試験により実施する。専門試験の実施方法は共通であるが、外国語試験は下記の表の通り A・B の2方式に分けて実施する。志望教員の所属する講座のとり方方式に従うこと。総合生存学館を志望する者には人間・環境学研究科において行われる口述試験は課さない。

A 方式	B 方式
試験第1日目に第1外国語、第2外国語の筆答試験を課す。	令和5年4月1日以降に受験した TOEFL/TOEIC のスコア提出をもって外国語試験に替える。(詳細は欄外の説明を参照のこと)
02. 人間・社会・思想講座	01. 数理・情報科学講座
03. 芸術文化講座	04. 認知・行動・健康科学講座
05. 言語科学講座	07. 共生世界講座
06. 東アジア文明講座	09. 物質科学講座
08. 文化・地域環境講座	10. 地球・生命環境講座

B方式の外国語試験は TOEFL もしくは TOEIC のスコアで代用する。対象となる TOEFL もしくは TOEIC のスコア（令和 5 年 4 月 1 日以降に受験したものが有効）を出願時に提出すること（※スコア提出方法の詳細は、1. 出願書類を参照すること）。対象とするスコアは下記の通りである。

TOEFL は TOEFL-iBT(Internet-based Test)のスコア（当該試験日のスコア）を有効とし、My Best™ スコア及び TOEFL-ITP(Institutional Testing Program)のスコアは認めない。

また、TOEIC については TOEIC L&R 公開テストのスコアのみを有効とし、TOEIC Bridge や TOEIC S&W のスコアは認めない。また、団体特別受験制度（IP テスト）におけるスコアも認めない。

なお、TOEFL-iBT と TOEIC のスコア換算には下記の換算式及び「TOEFL®Internet-based Test Score Comparison Tables」の換算表を使用する。

$$\text{TOEIC スコア} \times 0.348 + 296 = \text{TOEFL-PBT スコア}$$

3. 試験日程等

試験場：京都大学吉田南構内（詳細は受験票送付時に案内する）

・外国語科目試験（A 方式）

令和7年9月10日（水）	
外国語 （筆答試験）	<受験生一般> 英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・イタリア語・中国語・スペイン語・アラビア語・朝鮮語のうちから人間・環境学研究科修士課程学生募集要項 別表1「第1志望教員が指示する受験科目等一覧」（以下、「別表1」という*）に記載する志望教員の指示に従い第1外国語と第2外国語を選択すること。 第1外国語、第2外国語に同一外国語を選択できないが、別表1の「英語併願」欄に「○」のある教員を志望教員とする者は、第1外国語に英語を選択する場合、第2外国語として第2外国語用の英語問題を選ぶことができる。 外国語は出願時に選択し、出願後の変更は認めない。 *人間・環境学研究科ウェブサイトに掲載
午前9時 ～11時	
（注） 1言語につき1冊 の語学辞書（ただし、電子辞書を除く）の使用を許可する。	<外国人留学生>※在留資格が「永住者」の者を除く 第1外国語：日本語 A（より高度な内容）または日本語 B（一般的な内容） 第2外国語：前記9言語のうちから選択 （問題の選択については、別表1に記載する志望教員の指示に従うこと。）

・専門科目試験

令和7年9月10日（水）	
専門科目 （筆答試験） 午後0時半 ～3時	勉学を希望する専門分野（別表1に記載する志望教員の指示する専門科目）についての学力を問う。 なお、専門分野に関係した外国語の問題を加えることがある。 詳細は人間・環境学研究科修士課程学生募集要項別表2*「専門科目出題説明一覧」を参照のこと。 専門分野は出願時に選択し、出願後の変更は認めない。 *人間・環境学研究科ウェブサイトに掲載

試験科目別配点

科目		配点
外国語（A方式）	第1外国語	80
	第2外国語	20
外国語（B方式）	TOEFL/TOEIC	*100
専門科目（筆答試験）		300
合計		400

*換算の目安は前頁に記載の通りとする。

・予備日（令和7年9月12日（金））

暴風警報の発令等により試験実施が困難な場合に、試験の実施日程を1日ずつ繰り下げる場合がある。

その場合の予備日を上記の日とする。試験日を変更する場合は、試験予定日の朝までに人間・環境学研究科ホームページ（<https://www.h.kyoto-u.ac.jp>）及び人間・環境学研究科掲示板にて告知するので、必ず確認すること。

エネルギー科学研究科

総合生存学館を志望する者は、エネルギー科学研究科修士課程の第1回選抜のみ受験可能である。

以下の情報は、令和7年度エネルギー科学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項であるため参考として読むこと。エネルギー科学研究科が令和8年度学生募集要項をウェブサイトに掲載次第、本ページを更新するので随時確認すること。一次出願を行った者には願書記載のメールアドレスに連絡する。（以下に記載している日程等については変更される。）

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験でエネルギー科学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

受験承諾書 ※学部生は不要。	他の大学院在学学生は所属研究科長の、また官公庁・会社等の在職者は所属機関の長の承諾書を提出すること。（様式随意）
TOEFL または TOEIC 試験の成績証明書 ※TOEFL は受験から公式スコアレポートの到着に非常 に日数を要する場合がある ので、十分な時間的余裕を 持って受験すること。	【エネルギー基礎科学専攻志願者】 エネルギー基礎科学専攻志願者は、令和4年8月1日以降に実施された TOEFL または TOEIC 試験の成績証明書を試験当日に提出。出願時には成績証明書は提出不要であるが、TOEFL の場合は公式スコアレポートの送付手続きをすること。詳細は「3. 受験要領」を参照。 【エネルギー変換科学専攻志願者】 エネルギー変換科学専攻志願者は、令和4年8月1日以降に実施された TOEFL または TOEIC 試験の成績証明書を、「3. 受験要領」の当専攻「○ 英語の学力評価について」を熟読の上、提出すること。

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2024 年 7 月 5 日（金）午後 5 時（必着）まで

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2025 年 4 月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 入学者選抜方法及び学力検査日程

入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査の成績を総合して行う。学力検査は、次の日程により行う。

1. エネルギー社会・環境科学専攻

第1回選抜

専攻	月日	8月7日（水）	
		時間	試験科目
エネルギー社会・環境 科学専攻		9:00～11:00	論述
		11:30～13:00	英語
		14:00～18:00	口頭試問

試験室及び受験に関する注意事項は、受験票と同時に送付する。

2. エネルギー基礎科学専攻

第1回選抜

専攻	月日	8月7日（水）	
		時間	試験科目
エネルギー基礎科学 専攻 第1回選抜		11:00～11:30	英語（「3. 受験要領」において指定されたTOEFL試験の成績証明書（受験者用控えスコアレポート）あるいはTOEIC試験のデジタル公式認定証（TOEIC申込サイトでダウンロード可能なPDFを印刷したもの）の提出）
		13:00～15:00	専門科目：数学、量子力学、電磁気学、電気電子工学、熱・統計力学、物理化学、分析化学、無機化学、有機化学の計9科目から2科目選択。ただし、熱・統計力学と物理化学はどちらか1科目のみしか選択できない。

試験室及び受験に関する注意事項は、受験票と同時に送付する。

3. エネルギー変換科学専攻

第1回選抜

専攻	月日	8月6日（火）		8月7日（水）	
		時間	試験科目	時間	試験科目
エネルギー変換科学 専攻 第1回選抜		9:30～11:30	専門科目Ⅰ： 数学、熱力学、材料力学、材料物性学、電磁気学の計5科目から2科目を選択	9:30～11:30	専門科目Ⅱ： 専門分野1、専門分野2、専門分野3、専門分野4の計4分野から1分野を選択
		13:00～14:00	小論文		

試験室及び受験に関する注意事項は、受験票と同時に送付する。

4. エネルギー応用科学専攻

第1回選抜

専攻	月日	8月6日（火）		8月7日（水）	
		時間	試験科目	時間	試験科目
エネルギー応用科学専攻		9:30～11:30	英語	9:30～12:00	口頭試問
		13:00～16:00	専門科目 (1) 数学 (2) 流体力学 (3) 材料強度学 (4) エネルギー熱化学 (5) 材料物理化学基礎 (6) 電磁気学 (7) 電気電子回路 の7科目から2科目選択		

試験室及び受験に関する注意事項は、受験票と同時に送付する。

3. 受験要領

エネルギー科学研究科修士課程の入学試験は、各専攻で独自に行う。研究分野への配属は志望した専攻内で決定する。各専攻の試験方法の詳細は、以下のとおりである。受験者は、本要領に従い受験に臨むこと。

・ エネルギー社会・環境科学専攻

英 語：辞書などの持ち込み不可。

論 述：エネルギー社会・環境科学に関連して与えられたテーマについて論述。

口頭試問：当専攻において学修・研究を進めるために必要な適性について評価する。

※ 電卓などの持ち込みは不可。

※ 英語、論述、口頭試問の各科目で、予め定められた有資格基準に達しなかった場合、不合格となることもある。

・ エネルギー基礎科学専攻

【第1回選抜】

英 語：配点 100 点

下記の TOEFL または TOEIC の成績により評価する。両方提出する場合は、それぞれの成績に基づく評価のうち良い方を英語の得点とする。受験生は全員、試験当日の指定時刻（午前 11 時）に試験場に集合し、受験票を提示し成績証明書（TOEFL の受験者用控えスコアレポート、もしくは TOEIC のデジタル公式認定証（TOEIC 申込サイトでダウンロード可能な PDF））を入手

し、印刷したもの）を提出して成績登録を行うこと。成績登録が無い場合は英語不受験となり、不合格となるので注意すること。成績登録に際し、成績証明書の提出がない場合は、英語の得点を0点とするが、英語の成績登録はなされたものとする。

【TOEFL の場合】

- ・ 令和4年8月1日以降に実施された TOEFL iBT (Internet Based Testing (Home Edition 含む))の公開テストの成績により英語の学力を評価する。
- ・ 受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report) と、公式スコアレポート (Official Score Report) の両方の提出が必要である。
- ・ 受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report) (ホームページからダウンロードした PDF 形式のスコアレポートを印刷したものも可)は試験当日提出すること。
- ・ 公式スコアレポート (Official Score Report) については、TOEFL 事務局から以下の送付先に公式スコアレポートの送付を請求すること。京都大学への到着期限は令和6年7月31日(水)とする。

☆公式スコアレポートの送付先

DI (Designated Institution)コード: "9501" (Kyoto U., Kyoto)

Department コード: "69" (Engineering, other)

- ・ TOEFL iBT (Internet Based Testing (Home Edition 含む)) のスコアレポートのみを受理する。
- ・ TOEFL-ITP (Institution Testing Program)などの団体試験のスコアレポートは無効とするので注意すること。
- ・ TOEFL は受験から公式スコアレポートの到着に非常に日数がかかる場合があるので、十分な時間的余裕を持って受験すること。
- ・ Test Date Scores のみを採用し、My Best™ Scores は採用しない。

【TOEIC の場合】

- ・ 令和4年8月1日以降に実施された TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&R)の公開テストのデジタル公式認定証 (Official Score Certificate)の成績により英語の学力を評価する。
- ・ 日本で実施された TOEIC Listening & Reading Test 公開テストの成績証明書ののみを受理する。これ以外の成績については受け付けないので注意すること。
- ・ TOEIC 申込サイトからダウンロードした PDF 形式のデジタル公式認定証 (Official Score Certificate) を印刷したものを試験当日に持参すること。
- ・ 当専攻は公開テスト「スコア確認サービス」を利用して、デジタル公式認定証の確認を行う。TOEIC 申込サイトにて、十分に時間の余裕をもって出願日より前に当専攻が TOEIC スコアの提出先となるように下記申請コードを入力して手続きしておくこと。

☆TOEIC スコアの提出先

申請コード: 00013702

団体名称: 京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー基礎科学専攻

- ・ TOEIC は受験からデジタル公式認定証の発行まで時間を要するため下記サイトを確認して、十分な時間的余裕を持って受験すること。

<https://www.iibc-global.org/toEIC/test/sw/guide04.html>

- ・ TOEIC Bridge、TOEIC Speaking & Writing Tests などの団体試験の成績証明書は無効とするので注意すること。

専門科目：配点 300 点

数学（微積分、微分方程式、線形代数、ベクトル解析、複素解析）、量子力学、電磁気学（電磁気学基礎、電磁誘導を含む）、電気電子工学（電気回路、電気電子計測）、熱・統計力学（伝熱工学、流体熱工学を含む）、物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、以上 9 科目から 2 科目を選択する。ただし、熱・統計力学と物理化学はどちらか 1 科目のみしか選択できない。

※ 電卓などの持ち込みは不可。

なお、英語および専門科目のうち、1 科目でも受験しなかった場合は、不合格となるので注意すること。

・エネルギー変換科学専攻

【第 1 回選抜】

英 語：配点 100 点

TOEFL の公式スコアレポート(Official Score Report)あるいは TOEIC のデジタル公式認定証(Official Score Certificate)の成績に基づいて、100 点満点に換算し、評価する。

（後述の「英語の学力評価について」を熟読すること。）

専門科目Ⅰ：配点 200 点

下記の数学、熱力学、材料力学、材料物性学、電磁気学の計 5 科目から 2 科目を選択し、その選択科目についてそれぞれ解答する。

数 学：線形代数、微分方程式、ベクトル解析、複素関数、フーリエ解析、ラプラス変換、などから出題する。

熱 力 学：熱力学の基礎と応用から出題する。

材 料 力 学：材料力学、および弾性論の初歩から出題する。

材料物性学：材料物性の基礎から出題する。

電 磁 気 学：電磁気学の基礎と応用から出題する。

小論文：配点 100 点

エネルギー変換科学に関して出題する。

専門科目Ⅱ：配点 200 点

以下の各専門分野から 1 専門分野を選択して、選択分野について解答する。

専門分野 1：機械力学、流体力学・伝熱学、システム工学、機械設計など。

専門分野 2：電気回路、電子回路、電気電子計測、電気機器など。

専門分野 3：材料物性、材料組織、材料強度、材料熱力学など。

専門分野 4：応用物理（真空、原子力、放射線、核融合など（関連する材料を含む））、応用化学（移動現象、反応プロセスなど）。

※ いずれの科目においても、電卓などの持ち込みは不可。

○英語の学力評価について

- ・ TOEIC のデジタル公式認定証および TOEFL 公式スコアレポートは令和 4 年 8 月 1 日以降のスコアを有効とする。
- ・ 後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
- ・ TOEIC デジタル公式認定証あるいは TOEFL 公式スコアレポートの提出がない場合は、英語の得点を 0 点とする。

【TOEFL の場合】

- ・ 受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report) と、公式スコアレポート (Official Score Report) の両方の提出が必要である。
- ・ 受験者用控えスコアレポート (Test Taker Score Report) は、出願時に、出願書類とともに提出すること。ホームページからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可とする。
- ・ 公式スコアレポート (Official Score Report) については、TOEFL 事務局から以下の送付先に公式スコアレポートの送付を請求すること。京都大学への到着期限は令和 6 年 7 月 19 日（金）とする。

☆公式スコアレポートの送付先

DI (Designated Institution) コード：“9501” (Kyoto U., Kyoto)

Department コード：“69” (Engineering, other)

- ・ TOEFL iBT (Internet Based Testing (Home Edition 含む)) のスコアレポートのみを受理する。
- ・ TOEFL-ITP (Institution Testing Program) などの団体試験のスコアレポートは無効とするので注意すること。
- ・ TOEFL は受験から公式スコアレポートの到着に非常に日数がかかる場合があるので、十分な時間的余裕を持って受験すること。
- ・ Test Date Scores のみを採用し、My Best™ Scores は採用しない。

【TOEIC の場合】

- ・ TOEIC 申込サイトからダウンロードした PDF 形式の公式認定証 (Official Score Certificate) を印刷したものを出願時に、出願書類等とともに提出すること。
- ・ 当専攻は公開テスト「スコア確認サービス」を利用して、公式認定証の確認を行う。TOEIC 申込サイトにて、十分に時間の余裕をもって出願日より前に当専攻が TOEIC スコアの提出先となるように下記申請コードを入力して手続きしておくこと。

☆TOEIC スコアの提出先

申請コード：00013703

団体名称：京都大学エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻

- ・ TOEIC は受験からデジタル公式認定証の発行まで時間を要するため下記サイトを確認して、十分な時間的余裕を持って受験すること。

<https://www.iibc-global.org/toEIC/test/sw/guide04.html>

- ・ 日本で実施される TOEIC L&R 公開テストの成績証明書のみを受理する。
- ・ TOEIC Bridge、TOEIC Speaking & Writing Tests などの団体試験の成績証明書は無効とするので注意すること。

・エネルギー応用科学専攻

【第1回選抜】

英 語：配点 200 点

辞書の持ち込み不可。

専門科目：配点 500 点

以下の 7 科目から 2 科目を選択

数学；微積分、ベクトル解析、線形代数、複素関数論、フーリエ級数、フーリエ変換とその応用、常微分方程式、偏微分方程式の解法、ラプラス変換。

流体力学；流体力学の基礎事項全般。非粘性流体の基礎理論、ポテンシャル流れ、渦運動、揚力論。粘性流体の基礎方程式、剥離現象と抗力理論、層流と乱流境界層の解析および乱流理論の初歩的事項。気体力学の初歩的事項。

材料強度学；材料強度学の基礎事項全般。格子欠陥、転位の弾性論、増殖・切り合い・堆積等の転位挙動、強化機構、疲労強度、高温強度および塑性力学基礎。

エネルギー熱化学；化学熱力学の基礎事項全般（熱力学第 1・2・3 法則、相変態、理想気体、ガス平衡（エリンガム図を含む）、不均一系の平衡（ギブズの相律を含む）、電池の起電力など）および溶体の熱力学（2 元系状態図、3 元系状態図、理想溶体、正則溶体、希薄溶体、活量（ギブズ-デュエムの式を含む）など）について出題する。[定規持参のこと]。

材料物理化学基礎；地球環境学、資源エネルギー科学技術および材料プロセッシング等の基礎となる物理化学の基礎（熱力学の第 1、第 2 法則、相図、化学平衡、電気化学平衡（電位-pH 図を含む）、物質移動、イオンの輸送と拡散、化学反応速度、動的電気化学など）および材料基礎学（2 成分系状態図と材料組織、固体中の原子の拡散など）について出題する。[定規持参のこと]。

電磁気学；静電界と静磁界、定常電流、電流磁界、電磁力、電磁誘導、電磁界（マックスウェルの電磁方程式）。

電気電子回路；直流回路、交流回路（多相回路を含む）、ラプラス変換による過渡現象解析、能動素子と増幅・発振回路、演算増幅器とその応用回路。

口頭試問：配点 200 点

本専攻志望理由、配属希望などのほか、研究履歴や勉学の内容、およびその理解の程度、将来への展望等について試問する。

※ 携行品

受験票、筆記用具（鉛筆、ボールペン、シャープペンシル、消しゴム）、定規、関数電卓（電池式で不揮発性プログラム記憶機能のないものに限る）。

なお、英語、専門科目および口頭試問のうち、1科目でも受験しなかった場合は、不合格となるので注意すること。

アジア・アフリカ地域研究研究科

総合生存学館を志望する者は、アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程〔5年一貫制〕（第1回試験）のみ受験可能である。

以下の情報は、令和8年度アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程〔5年一貫制〕学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験でアジア・アフリカ地域研究研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

自薦書	京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科ウェブサイトからダウンロードし、志望の動機及び関心を持つ地域と研究課題等を記述（英語使用可）してください。
-----	--

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025年8月18日（月）～2025年8月27日（水）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 試験日程等

■1次試験《筆答試験》

筆答試験において使用を許可するものは、黒鉛筆・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴム・時計（時計機能だけのもの）に限ります。

試験実施年月日 時間	試験 科目	内容等	配点
令和7年9月10日（水） 9時～10時30分	英語	語学辞書（電子辞書を除く）の使用を許可します。	100点
11時～13時	専門 科目	専攻ごと（グローバル地域研究専攻においては研究領域ごと）に自然・生態・社会・文化・政治・経済等に関する問題の筆答試験を行います。	100点

試験場：京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科（京都大学稲盛財団記念館3階大会議室／京都市左京区吉田下阿達町46）

1次試験合格者発表：令和7年9月10日（水）19時頃に総合生存学館教務掛から入学願書記載のメールアドレスに連絡します。

■2次試験《口述試験》(1次試験合格者を対象とします。)

試験実施年月日	内容	配点
時間		
令和7年9月11日（木） 9時～	専攻ごとに、地域研究の方法、研究上の諸問題に関して口述試験を行います。	200点

試験場：京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科(京都大学稲盛財団記念館)

情報学研究科

総合生存学館を志望する者は、情報学研究科修士課程一般選抜試験では先端数理科学コースのみが第一次試験としての受験が可能である。他のコースの受験はできない。

総合生存学館の第一次試験で情報学研究科を受験する者は、当該コースで実施される入試説明会等に出席することを強く推奨する。

なお、先端数理科学コースの修士課程の教育は全て日本語で行われ、入学試験の出題も日本語で行われる。

以下の情報は、令和8年度情報学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類（研究科別）

P.9記載の（2）二次出願書類（共通）と併せて、第一次試験で情報学研究科先端数理科学コースの受験を希望する者は、以下の書類を出願書類と共に提出すること。

志望説明書	これまでの学修・研究の経過、志望動機、入学後の研究の抱負などを A4判2ページ以下にまとめたものを提出すること。冒頭に出願者名を明記し、卒業研究に相当する科目を履修した場合（履修中も含む）は、当該科目のテーマと内容も明記すること。（日本語または英語で、様式随意、文書作成ソフト等を使用して清書することが望ましい）
-------	--

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025年6月4日（水）～2025年6月17日（火）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 入学者選抜方法及び学力検査日程

(1) 入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査（筆記試験・口頭試問）の成績により行う。

なお、先端数理科学コースにおいては、口頭試問の対象者は筆記試験の結果により決定され、合格者は口頭試問の対象者の中から決定される。

(2) 学力検査は、次の日程により情報学研究科において行う。

◎学力検査日程

試験科目の内容、出題範囲、選択形式などの詳細については、後掲 3. に記載されているので、熟読すること。

コース名	月日	試験時間	試験科目
先端数理科学コース	7 月 12 日 (土)	10:00～11:30	基礎科目
		13:00～14:30	専門科目
		16:00～	口頭試問(注 1)
	7 月 13 日 (日)		予備日(注 2)

注 1. 口頭試問対象者及び口頭試問日時は、7 月 12 日 (土) 午後 3 時 45 分までに情報学研究科事務室前入試用掲示板（総合研究 8 号館 1 階）に掲示する。

注 2. 暴風警報等の発令により試験実施が困難な場合に、予備日を利用して試験の実施日程を繰り下げることがある。試験日を変更する場合は、試験当日の朝（午前 7 時まで）に WEB ページ (<https://www.i.kyoto-u.ac.jp/>) にて告知するので、受験生は必ず事前に確認しておくこと。

(3) 試験場等受験に関する注意事項の掲示について

掲示内容については各自で確認すること。電話等による問い合わせには応じない。

日 時：7 月 12 日 (土) 午前 9 時 15 分までに行う

場 所：情報学研究科事務室前入試用掲示板（総合研究 8 号館 1 階）

(4) 試験当日は、試験開始 20 分前までに当該試験室前に集合すること。

(5) 学力検査（筆記試験）に関する注意事項

- ① 試験室では必ず受験票を携帯し、試験監督の指示に従うこと。
- ② 試験に使用を認めるものは、鉛筆・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴム・定規・時計（計時機能だけのもの）・ハンカチ・ティッシュペーパー（中身だけを取り出したもの）に限る。
スマートフォン・携帯電話等を机の上に出すことはできない。
- ③ 辞書・事典（電子辞書を含む）の使用を許可しない。
- ④ その他参照物は認めない。
- ⑤ 試験開始時間に遅れた場合は、各科目とも試験開始後 30 分以内に限り入室を認める。
- ⑥ 欠席した科目の点数は 0 点として扱う。2 科目以上欠席した場合は失格として扱う。

(6) 口頭試問に関する注意事項

口頭試問の対象者で口頭試問を欠席した場合は失格として扱う。

3. 試験科目についての補足

先端数理科学コース

(ア) 「基礎科目」についての補足

2 題の必須問題と 3 題の選択問題の計 5 題が日本語で出題され、受験者は 3 題の選択問題の中から 1 題を解答時に選択して合計で 3 題を解答する（配点 150 点）。必須問題は理系学部の 1、2 年生で学修する程度の線型代数および微積分（留数等を利用する定積分の計算を含む）から出題される。選択問題は、線型代数、微積分に関する事項、および、常微分方程式、1 変数の複素解析に関する初歩的事項、質点・質点系の力学および剛体の力学に関する事項から出題される。

(イ) 「専門科目」についての補足

「解析学」「応用数学」「工業数学・計算力学」「統計力学」「流体力学」の合計 5 題が日本語で出題され、各受験者は解答時にこの中から 1 題を選択して解答する（配点 150 点）。

なお、上記の「応用数学」、「工業数学・計算力学」の指す具体的な内容は、以下の通りである。

応用数学： より進んだ内容の線型代数および微積分（ベクトル解析を含む）、1 変数の複素関数論、常微分方程式、偏微分方程式（初歩的な内容）、フーリエ解析、および数値解析・数値計算に関する事項など。

工業数学・計算力学：工学系学部で学習する程度の数学（ベクトル解析、複素解析、フーリエ解析等）に関する計算問題と数値計算に関する事項など。留数を利用する単純な定積分の計算は、原則として出題しない。

なお、試験準備の参考となる過去の出題等が（オ）のコースホームページには掲載されている。

(ウ) 口頭試問についての補足

基礎科目、専門科目の点数および出願書類の内容を総合して口頭試問対象者を決定し、口頭試問対象者に対して志望区分まで含めて可否により合格者を決定する 2 段階の選抜を行う。

口頭試問においては、志望動機、出身（在学する）大学での学習内容（特に卒業研究に関する内容）、志望区分及び希望する研究分野、筆記試験の内容などについての試問を原則として日本語で行う。

(エ) 志望区分及び研究分野

以下の 5 つのコース志望区分の中から、順位を付けて 3 つまで 記入すること。

志望区分 研究分野

先端－1 応用解析学、逆問題、非線型問題、偏微分方程式、確率論、フラクタル解析

先端－2 非線形力学、非線形振動系、計算物理学

先端－3 理論神経科学、非平衡・非線形物理学、ネットワーク結合力学系

先端－4 数値シミュレーション、数値解析、計算力学、計算工学

先端－5 流体力学、希薄気体力学、流体の数値計算

志望区分の順位等については口頭試問の際に再確認するが、その際に願書に書かれているものを変更

することを認める。

(オ) コースのホームページ

<https://www.acs.i.kyoto-u.ac.jp/>

(カ) 試験科目には「英語」を課していないが、入学後の学習では英語力が必要である。
修士課程の教育は、日本語で行う。

生命科学研究科

総合生存学館を志望する者は、生命科学研究科修士課程の「一般入試」のみ受験可能である。
(論文入試は対象外)

総合生存学館を志望する者は、以下の研究分野には出願できない。

統合生命科学専攻(細胞認識学、遺伝子特性学、生体情報応答学、生態進化学、微細構造ウイルス学、老化感染制御学)

高次生命科学専攻(分子病態学、染色体継承機能学、脳機能発達再生制御学、クロマチン動態制御学、生体動態制御学)

以下の情報は、令和8年度生命科学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類(研究科別)

P.9記載の(2)二次出願書類(共通)と併せて、第一次試験で生命科学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

英語力検定試験 スコアの<u>原本</u> (注1) (注1) TOEIC (L&R) については、デジタル 公式認定証をダウン ロードした PDF のプ リントアウトをもっ て原本とする。	生命科学研究科が指定する英語力検定試験のスコアを二次出願書類(共通)とともに提出してください。 ※ 生命科学研究科が指定する英語力検定試験について 生命科学研究科では、英語の総合的な基礎学力を判定するものとして、下記の英語力検定試験を指定します。以下の英語力検定試験において、生命科学研究科が公式と認める証明書の「原本」(注1)を二次出願書類(共通)とともに提出してください。 ・TOEFL iBT(会場受験型及び自宅受験型(Home Edition))(以下、TOEFL iBT) ・IELTS(アカデミック・モジュール)(以下、IELTS) ・TOEIC (Listening & Reading Test)(以下、TOEIC(L&R)) ※ スコア提出の詳細は、次頁の「英語力検定試験スコアの提出にあたっての注意事項について」を参照してください。
出願承諾書 (所定用紙)	官庁・企業等の在職者が、休職等の形で、在籍のまま入学したい場合には、所属長または代表者の出願承諾書を提出してください。 在職中の方で、出願承諾書を提出しなかった方は、入学試験に合格しても退職しなければ入学を許可しません。 出願承諾書は問い合わせのあった方にのみ交付します。

二次出願書類(共通)及び(研究科別)の郵送

受付期間: 2025年7月1日(火)~2025年7月2日(水)午後5時(必着)

提出先: 〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注) 郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集(2026年4月期)出願書類在中」と朱書(レターパックプラスの場合は「品名」に記載)のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

英語力検定試験スコアの提出にあたっての注意事項について

1. 各自で TOEFL iBT、IELTS、または TOEIC (L&R) の申し込み手続きを行い、受験してください(受験に必要な費用は自己負担)。
2. 次のア、イ、ウのいずれか1つの原本(注2)を、出願時に提出してください。
 - ア. TOEFL iBT の「Test Taker Score Report (受験者用スコアレポート)」
 - イ. IELTS の「Test Report Form (公式成績証明書)」
 - ウ. TOEIC (L&R) の「Official Score Certificate (公式認定証)」(注2)
3. TOEFL iBT、IELTS、TOEIC (L&R) をあわせて複数回受験している場合、そのうちいずれか1回の受験結果のスコア原本のみ提出してください。複数のスコアを提出した場合は、すべてを無効として扱います。
4. いずれの英語力検定試験についても、2023年7月1日から2025年6月30日までの期間に取得したスコアに限り受け付けます。(本入学試験の出願期限の2日前までに取得したスコアを有効とします。)
5. TOEFL iBT のスコアは、Test Date スコアを受け付けます。(My Best スコアや、団体試験用の TOEFL ITP のスコアは受け付けません。)
6. 上記テストのスコアについて、不正が判明した場合は失格とし、入学後であっても、過去に遡って合格を取り消します。
7. 出願時にスコア原本の提出が間に合わない場合は、出願時に願書の指定の箇所にその旨を記載し、試験当日に生命科学研究科が指定する時刻までに試験実施本部へスコア原本(注2)を持参して直接提出してください。ただし、指定日時までにスコア原本(注2)が提出されない場合、または提出されたスコアが無効と判定された場合には、筆記試験および口頭試問の受験を認めません。
8. いずれかの英語力検定試験のスコアを提出した後に、より良い点数のスコアを再提出、または別の英語力検定試験のスコアを再提出する等により、提出後のスコアを差し替えることは認めません。
9. 提出されたスコア証明書等の原本については、願書受理期間以降に順次返却いたします。

(注2) TOEIC(L&R)については、デジタル公式認定証をダウンロードしたPDFのプリントアウトをもって原本とする。

2. 学力検査日程・内容

<一般入試>

筆記試験：2025年8月2日（土）

時間		科目等	注意	検査会場
筆記試験	10:00～12:00	共通専門科目	生命科学基礎に関する設問のうちから指定された数の問題を選択して解答してください。	京都大学 吉田地区 詳細は、受験票送付の際に通知します。
	13:30～15:30	分野別専門科目	志望する分野に関連した学力試験を行います。	

口頭試問：2025年8月2日（土）～5日（火）

オンライン形式で実施します。詳細については、志望分野の主任教員からメール等で連絡がありますので、指示に従ってください。

科目等について

提出された英語力検定試験スコアを基に、英語の基礎学力があることを判定します。

共通専門科目では、生命科学の基礎となる分子生物学・細胞生物学・生化学の理解力を判定します。

学力検査に関する注意事項

1. 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従ってください。
2. 試験に使用を許す筆記用具等は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴムに限ります。
3. 指定された学力検査科目のうち、一つ以上を受験しなかった方は失格とします。
4. 第一志望分野の専門科目及び口頭試問を欠席した場合は、第二志望分野の専門科目及び口頭試問を受験することはできません。

注意事項等

1. 試験当日は、試験開始30分前までに当該試験室前に集合してください。
2. 学力検査開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。開始時刻後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
3. 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。

統合生命科学専攻/高次生命科学専攻の研究内容

各専攻の研究内容等詳細については、京都大学大学院生命科学研究科修士課程学生募集要項を参照してください。

地球環境学舎

総合生存学館を志望する者は、地球環境学舎修士課程の「一般入試」(夏期選抜)のみ受験可能である。

総合生存学館教員の研究指導を希望し、地球環境学舎の入試のみ利用する者は、「2. 学力検査 (1)」の受入志望教員とのコンタクトについて、総合生存学館教員からの指示に従うこと。

以下の情報は、令和8年度地球環境学舎修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

1. 出願書類 (研究科別)

P.9記載の(2)二次出願書類(共通)と併せて、第一次試験で地球環境学舎を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

志望理由書	所定の様式を用いて PC で作成すること。 ※所定様式は、地球環境学舎の Web サイト (https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/admissions/schedule-and-guide/) から取得すること。
TOEFL 等の英語スコア	※原本は、合格後の入学手続時に提出すること。 TOEFL 等の英語スコア 全ての受験者は、「TOEFL 等の英語スコア」を提出すること。提出しない場合、英語能力の点数は 0 点とする。 TOEFL-iBT (TOEFL iBT Home Edition を含む) の受験者成績表 (Test Taker Score Report) (注 1) の提出を原則とするが、以下のいずれかを提出してもよい。 ・ TOEIC Listening & Reading (Secure/Public testing program) の公開テストスコアの公式認定証 (Official Score Certificate) (注 2) ・ IELTS スコア公式成績証明書 (Test Report Form) (注 3) ただし、いずれであっても令和 4 年 4 月 1 日以降に受験した試験のスコアとする。また、2 種類以上のスコアを提出することはできない。 なお、各英語スコアの TOEFL-iBT スコアへの換算は以下の通りとする。 ・ TOEIC スコア：地球環境学舎 Web サイト掲載の修士課程学生募集要項 9 頁の「換算表」に基づく。 ・ IELTS スコア：ETS による換算表「TOEFL iBT® and IELTS® Academic Module Scores Comparison Tables」に基づく。 注 1：TOEFL-CBT、TOEFL-ITP スコア及び TOEIC 団体特別受験制度による IP スコアは認めない。TOEFL-iBT の受験者成績表 (Examinee Score Record) は、ETS から大学に直送される公式成績報告書 (Official Score Report) では代替できない。 注 2：TOEIC 公開テストスコアには、TOEIC Bridge を含まない。また、必ず公式認定証 (Official Score Certificate) を取得し提出すること。 注 3：IELTS はアカデミック・モジュールに限る。
地球環境に関する課題	別紙「地球環境に関する課題論文 分野別テーマ (地球環境学舎 Web サイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること)」に記載する志望分野が設定した

論文	テーマについて、PC を使用し、本文 A4用紙4枚以内（日本語の場合5,000字程度、英語の場合2,000words 程度）で記述したもの（様式随意。なお、冒頭に志望分野、氏名を記載すること。また、参考文献リストは本文字数、ページ数に含まない）。
----	---

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025 年 7 月 8 日（火）～2025 年 7 月 15 日（火）午後 3 時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026 年 4 月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 学力検査

日時	科目	試験場
令和 7 年 8 月 26 日（火） ～8 月 28 日（木） 各日 9 時～18 時 上記から日時を指定する。 1 人あたり 35 分の予定	口頭試問 地球環境に関する知識、志望分野に関する知識、入学後の研究計画及び学習計画、アドミッション・ポリシーで求める資質・能力に関する試問	京都大学吉田キャンパス 総合研究 5 号館 ※ただし、海外から受験する者については、オンラインで実施する。

(1) 入学者選抜は分野ごとに行うので、志望分野及び受入志望教員を出願時に選択すること。

総合生存学館教員の研究指導を希望し、地球環境学舎の入試のみ利用する者は、受入志望教員とのコンタクトについて、総合生存学館教員からの指示に従うこと。

募集を行う分野名・教員名一覧は、地球環境学舎修士課程学生募集要項を参照すること。

(2)「志望分野に関する知識」における分野ごとの出題内容は以下のとおり。

分野		「志望分野に関する知識」における出題内容
地球益学 廊	地球環境政策論分野	環境政策に関する知識を問う。
	環境経済論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	地球益経済論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	持続的農村開発論 分野	農村計画学及び農村開発論に関する知識を問う。
	水環境保全論分野	水環境保全（水質学、水と衛生、廃水処理、流域水環境管理など）に関する知識を問う。
	比較社会制度論分野	憲法学・司法政治学・法社会学に関する知識を問う。
	環境マーケティング 論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	美術史・文化論分野	美術史と文化に関する知識を問う。
地球親 和技術学 廊	環境調和型産業論 分野	環境工学（環境汚染、上下水道・廃水処理、廃棄物処理・処分・管理など）に関する知識を問う。
	社会基盤親和技術論 分野	地盤環境工学を中心として、社会基盤工学（土木工学、建設工学、建設環境工学）に関する知識を問う。
	人間環境設計論分野	生活、住居、建築、コミュニティ、都市という人間環境に関わる知識を問う。
	生物多様性保全論 分野	動植物の分類学、系統学、形態学、遺伝学、生物多様性や保全生物学に関する幅広い見識を問う。
	景観生態保全論分野	景観生態学、自然環境保全、ランドスケープ計画に関する幅広い見識を問う。
	元素材料化学論分野	環境計測・機能材料に関する知識を問う。
資源 循環学 廊	地域資源計画論分野	土地利用・管理を中心とする地域資源計画及び農村・地域開発に関する幅広い見識を問う。
	都市基盤デザイン論 分野	景観工学の基礎（景観の概念、分析、予測、評価、公共空間の各論など）や都市計画に関する知識を問う。
	親環境フォトセラミッ ク材料化学論分野	光機能性材料科学の研究遂行に必要な基礎数学、学部レベルの物理化学、無機化学に関する知識を問う。
	生産環境微生物学論 分野	農林生産環境と関連づいた微生物の分類学、系統学、遺伝学、生理学、生物間相互作用に関する幅広い見識を問う。
	陸域生態系管理論 分野	陸域生態系とその管理法、地域開発支援に関する知識を問う。
	生態系連環論分野	森林域、里域、沿岸・河口域の生態系の構造や機能および生態系間の連環に関する幅広い見識を問う。

(3) 口頭試問での採点・評価項目は以下のとおり。

基礎学力、知識力、理解力、問題把握能力、考察力、問題設定能力、研究能力、設問理解度、

応答能力、出願書類の内容

(4) 合否判定基準は、以下のとおり。

英語能力（満点 100 点）、口頭試問（地球環境に関する知識、志望分野に関する知識、入学後の研究計画及び学習計画・アドミッション・ポリシーで求める資質・能力、出願書類の内容を含む満点 400 点）の総得点（満点 500 点）により分野ごとに合否判定を行う。なお、総得点 250 点未満の者又は口頭試問 200 点未満の者は合格対象としない。

(5) 口頭試問における使用言語を「日本語」若しくは「英語」から選択すること。出願後の変更は認めない。

(6) 海外から受験する者については、オンラインで口頭試問を行う。事前に受験に適切な環境（静寂な個室）の確保や試問に使用する機器類（カメラ、スピーカー、マイク含む）や通信環境で、安定的に面接を実施できるか確認しておくこと。詳しくは、地球環境学舎 Web サイト掲載の修士課程学生募集要項別紙「オンライン口頭試問を受験する際の留意事項」を参照すること。

(7) 口頭試問の日時、受験案内等は令和7年8月上旬に総合生存学館教務掛からメールで通知する。

総合生存学館

総合生存学館教員の研究指導を希望する者については、アドミッション支援室(AA0)を通じて研究指導を希望する教員と事前に連絡をとり、当該教員が指定する研究科・専攻が実施する修士課程の一般選抜の入学試験を利用すること。

【一次出願書類】

期間 1～4 のうち、利用する研究科・専攻が属するいずれか一つの期間に、本募集要項 P.9 記載の提出先に提出すること。

【二次出願書類（共通）・（研究科別）】

二次出願書類（共通）・（研究科別）については、第一次試験で利用する研究科・専攻の出願書類・受付期間に以下の提出先まで送付すること。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1
京都大学大学院総合生存学館教務掛
TEL (075)762-2002, 2010

注) 郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026 年 4 月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。